

モクレポ



○高品質な国産木炭（黒炭）の欧米への輸出に取り組む製炭者（岩手県：（有）谷地林業）

令和5年7月
No.22

特集

- 国産材の安定供給体制の構築に向けた中央需給情報連絡協議会の開催
- 第4回ウッド・チェンジ協議会の開催
- 第73回全国植樹祭の開催
- 木質ペレット燃料の日本農林規格の制定
- 主要特用林産物の国内生産量（令和4年第1報）

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

CONTENTS 令和5年7月号

特集	1 国産材の安定供給体制の構築に向けた中央需給情報連絡協議会の開催	…1
	2 第4回ウッド・チェンジ協議会の開催	…2
	3 第73回全国植樹祭の開催	…3
	4 木質ペレット燃料の日本農林規格の制定	…4
	5 主要特用林産物の国内生産量（令和4年第1報）	…5
01	基礎的指標	
	1 新設住宅着工戸数	…6
	2 新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積	…9
	3 木材産業の業況	…13
	4 USドル及びユーロ為替相場	…14
	5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃	…15
6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準	…16	
02	木材価格情報	
	1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格	…17
2 木材価格（農林水産統計）	…19	
03	木材需給情報	
	1 需要量、供給量、自給率の動向	…28
	2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向	…31
	3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向	…32
	4 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向	…33
	5 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高	…34
	6 素材生産量	…35
7 木材生産の産出額	…36	
04	林産物輸出入情報	
	1 林産物輸出額	…37
	2 木材輸出額	…38
	3 木材輸入額	…39
	4 木材輸入量	…40
5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価	…46	
05	特用林産情報	
	1 特用林産物の国内生産量	…47
	2 特用林産物の産出額	…48
	3 特用林産物の輸出入量	…49
	4 特用林産物の輸出額	…50
	5 中国からのしいたけ菌糸輸入量	…53
6 きのご類の卸売量・価格	…54	
06	セミナー・イベント情報	
7 7月中旬以降の開催情報	…55	
お知らせ	10月1日から消費税インボイス制度が始まります！	…56
	林業信用保証のご案内	…58
	ウッド・チェンジ ロゴマーク活用のご案内	…59

国産材の安定供給体制の構築に向けた 中央需給情報連絡協議会の開催

- 林野庁は、2023年6月15日に、令和5年度第1回中央需給情報連絡協議会を開催。
- 2023年5月下旬から6月中旬に開催した全国7地区の地区別協議会における地区毎の需給動向の報告があったほか、輸入材及び全国の国産材製品等の需給動向を参加者間で共有。

令和5年度 第1回中央需給情報連絡協議会の結果

【概要】

- 林野庁より、木材の輸入状況や需給動向に加えて、令和5年度当初予算及び令和4年度補正予算、また、合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(通称「クリーンウッド法」)の改正について情報共有。
- 参加した事業者より、地区別の川上・川中・川下の需給動向や、海外情勢を踏まえた輸入材の動向、国産材の価格変動について、現状と見通しに関する情報を共有。

【需給動向に関する主な意見】

<川上(原木生産)の動向>

原木の出材は順調な地域が多いが、価格は地域によってはいわゆるウッドショック以前に戻り、今後は季節的に生産量が落ちる予想。花粉症対策のうち発生源対策として、現状の伐採面積を拡大する方針が示されたが、これに対応するためには更なる国産材需要の拡大と造林・育林労働者の確保が不可欠。

<川中(製材・合板製造)の動向>

製材については、5月は前月比で生産量が減少、販売価格が下落したが、6月は横ばい。合板については、昨年秋から2~4割減の生産調整が継続されており、原木の受け入れ制限も継続。

<川下(住宅供給・プレカット)の動向>

総工事費が3割以上上がったことなどで、昨年秋以降、注文住宅の新築案件が減少しており、今後も前年同月比2~3割減が続くと予想。電気代等の値上げが加工コストを押し上げている中、新規の受注が減少したことにより、プレカット工場間の競争が激化。非住宅物件については比較的好調。

<輸入材の動向>

港湾における輸入材製品の在庫調整が進みつつあり、また、今後も品目によっては入荷量が少ない状況が続く見込みで、価格の動向なども含めて注視が必要。

<その他>

木質バイオマス発電所の新規稼働等に伴いチップ・燃料用材の需要量は上がっているが、製材・合板用材の需要低迷により、チップ・燃料用材も生産量が減少するため悩ましい状況。チップ製品やチップ用材の価格については、全国的に見ると安定的に推移しているが、一部地域においては上昇。木質バイオマス発電所によっては燃料不足となる事例も見られる。

(参考)需給情報連絡協議会の構成、令和5年度の取組

国産材の安定供給体制の構築に向けて、川上から川下まで幅広く様々な関係者が木材等の需給情報の収集・共有を図るため、中央及び全国7地区において需給情報連絡協議会を開催。

○中央協議会

構成:学識経験者、中央団体、地区別協議会事務局等

議題:木材輸入の状況について

木材需給の動向(全国)について

開催状況:第1回 6月15日

○地区別協議会(全国7地区)

構成:学識経験者、地区における主要な事業者、都道府県等

議題:需給情報(地区)等

開催状況:第1回 5月下旬~6月中旬

○地区別協議会構成員

森林組合 素材生産業者
原木市場 苗木生産者
木材加工業者 製紙事業者
木質バイオマス発電事業者
工務店 学識経験者
森林管理局 等



需給情報連絡協議会の詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html>



特集-2 第4回ウッド・チェンジ協議会の開催

- 林野庁は、2023年6月5日に、民間建築物等における木材利用の促進に向けて、川上から川下までの幅広い関係者が一堂に参画する官民協議会「ウッド・チェンジ協議会」の第4回会合を開催。
- 課題等に応じて設置されている5つの小グループの成果報告や関係省庁からの情報提供、意見交換を実施。
- 各小グループでは、建築主等が民間建築物での木材利用を検討する際に参考となる普及資料を作成。引き続き課題解決に向けて検討を継続。

■ ウッドチェンジ協議会の概要

○目的

木材利用の促進に向けた課題の特定や解決方策の検討、先進的な取組の発信、木材利用に関する情報共有を行うことにより、木材を利用しやすい環境づくりに取り組む。

○参加団体等

- 会長: 隅 修三(東京海上日動火災保険株式会社 相談役)
- 団体・企業・研究機関・関係省庁 等 (計51団体)

○小グループ(5つ)

- 木材利用環境整備グループ ・ 情報発信グループ
- 低層小規模建築物グループ ・ 中規模ビルグループ
- 高層ビルグループ



野中農林水産副大臣



隅会長

■ 普及資料(建築物での木材利用のすすめ)

低層小規模建築物の木造化



地域の材料や加工・施工体制を活用して建築できる2階建ての事務所や、コンビニや飲食店など平屋や2階建ての小規模な店舗の木造モデル設計を提案。

中規模ビルの木造化



3階建て準耐火構造の事務所の木造化標準モデルや、延べ床面積3千㎡程度のオフィスの木造ビルのモデル設計、様々なタイプのホテルの木造化モデルを提案。

高層ビルの木造化



木造に係る技術面・制度面の発展を受けて、近年、徐々に増えてきた高層木造ビルについて、木造としてのねらいや効果、技術的な工夫等の事例を紹介。

内装での木材利用



内装に木材を使った様々な事例を紹介するとともに、オーナー等から集めた効果の声、研究データ等もあわせて、内装に木材を利用することで期待できる効果を用途別に整理。

川上から川下までの連携事例集



建築物での木材利用促進のための川上から川下までの連携事例について、建築物木材利用促進協定制度やウッド・チェンジ協議会のメンバーによる取組等を紹介。

建設事業者向け木造化手引き



これまで住宅以外の木造建築物の建設経験がない建設事業者を対象に、比較的参入しやすい低層小規模建築物の木造化について、企画から施工までの進め方を整理。

本件に関する情報や資料は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wckyougikai.html>



特集-3 第73回全国植樹祭の開催

- 国土緑化推進機構と岩手県は、2023年6月4日に、岩手県陸前高田市「高田松原津波復興祈念公園」で第73回全国植樹祭を開催。新型コロナウイルスの影響で、両陛下の現地御臨席は4年ぶり。

■ 全国植樹祭とは

天皇皇后両陛下の御臨席のもと、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する理解を深めるため、1950年から各都道府県を巡って毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的な行事。第1回は、1950年4月に山梨県甲府市において開催。

■ 第73回全国植樹祭

天皇皇后両陛下の御臨席のもと、2023年6月4日に岩手県陸前高田市「高田松原津波復興祈念公園」で「緑をつなごう 輝くいーハートの森から」をテーマに開催。

本大会では式典に先立ちプロローグが行われ、国内外からの復興支援に対する感謝と、東日本大震災の教訓を世代を超えて引き継いでいくことを誓う、「感謝のメッセージリレー」を披露。

式典では、天皇陛下から「かけがえのない森林の大切さを思うとき、苗木を植え、大切に育て、そして、未来を担う若い世代に健全な森林を引き継いでいくことは、私たちが果たすべき大切な使命」とのおことばを賜った。

また、大会会長の細田博之国土緑化推進機構会長（衆議院議長）及び達増拓也岩手県知事の挨拶に続き、全国の緑化功労者や各種コンクールの表彰、緑の少年団による苗木の贈呈、大会会長や野村哲郎農林水産大臣などによる記念植樹を実施。

両陛下におかれては、天皇陛下が南部アカマツ、カシワ、タブノキの苗木を、皇后陛下がベニヤマボウシ、ハナヒョウタンボク、ミチノクナシの苗木をそれぞれお手植えされた。また、天皇陛下はオオヤマザクラとケヤキの種を、皇后陛下はヤブツバキとハマナスの種をお手播きされた。

最後に、国土緑化推進機構の濱田純一理事長が大会宣言を行い、達増拓也岩手県知事から来年全国植樹祭が開催される岡山県の伊原木隆太知事に、全国植樹祭のシンボルである「木製地球儀」をリレーして閉幕。



天皇陛下によるおことば



緑の少年団にお声がけされる皇后陛下



緑化功労者に表彰状を授与する
野村農林水産大臣

これまでの全国植樹祭については、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/ryokka/syokuju/index.html>



特集-4 木質ペレット燃料に係る日本農林規格の制定

- 農林水産省は、2023年6月15日に、木質ペレット燃料に係る日本農林規格（JAS）を制定。
- 国産木質ペレット燃料の利用拡大を目指す民間団体からJAS制定の提案があり、これを踏まえて品質規格の内容を検討してきたもの。

概要

- 住宅用及び業務用の木質ペレット燃料の品質による分類及び仕様について規定。
- 原料の起源及び由来、物理的・化学的性質等により、A1、A2及びBの等級を規定。



効果

- 国産木質ペレット燃料の品質改善、生産の合理化、取引の円滑化等を促進。
- 品質規格を満たすペレットの供給により、利用者の安心度を高め、また、木質ペレット燃焼機器とのマッチングの不具合によるトラブルを減らすことで、ストーブ、ボイラー等による熱利用（暖房、給湯等）の普及に寄与。

■ 木質ペレット燃料の等級ごとの規格概要（抜粋）

品質項目	単位	等級		
		A1	A2	B
起源及び由来		①樹幹材 ②化学的処理されていない木質残材（製材等の際に出る、おが粉や端材）	①根を除く全木 ②樹幹材 ③林地残材 ④化学的処理されていない木質残材（製材等の際に出る、おが粉や端材）	①森林、植林地、その他の未利用木材 ②木材加工産業からの副産物及び残材（製材品・集成材等の製造時に出る、おが粉や端材）等
直径（D）	mm	D06 6±1、D08 8±1		
長さ（L）	mm	3.15<L≤40		
水分（M）	w-% 到着ベース 湿量基準	M≤10		
灰分（A）	w-% 無水ベース	A≤0.7	A≤1.2	A≤2.0
機械的耐久性（DU）	w-% 到着ベース	DU≥97.5		DU≥96.5
真発熱量（Q）	MJ/kg 到着ベース	Q≥16.5		
窒素（N）	w-% 無水ベース	N≤0.3	N≤0.5	N≤1.0
硫黄（S）	w-% 無水ベース	S≤0.04	S≤0.05	
塩素（Cl）	w-% 無水ベース	Cl≤0.02		Cl≤0.03

注:w-%は質量分率を表す。

木質ペレット燃料に係るJASの詳細は、次のURLをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_standard/#rinsan



特集-5 主要特用林産物の国内生産量（令和4年第1報）

- 農林水産省は、2023年6月30日に、令和4年特用林産物生産統計調査結果の第1報（速報値）を公表。
- きのこ類の生産量は、前年比99.9%で46万1,659 t。このうち、乾しいたけは前年比91.7%で14,224 t（生換算）、生しいたけは前年比97.8%で69,504 t。
- たけのこの生産量は、前年比103.0%で20,509t。
- 木炭の生産量は、前年比102.9%で11,882 t。

区 分	令和3年	令和4年	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
食用きのこ類計	462,021	461,659	△ 362	99.9
しいたけ計	86,573	83,728	△ 2,845	96.7
乾しいたけ （生換算値）	2,216 (15,514)	2,032 (14,224)	△ 184	91.7
生しいたけ	71,058	69,504	△ 1,554	97.8
原木栽培	4,981	4,281	△ 700	85.9
菌床栽培	66,078	65,223	△ 855	98.7
なめこ	24,063	23,697	△ 366	98.5
えのきたけ	129,587	126,321	△ 3,266	97.5
ひらたけ	4,463	4,501	38	100.9
ぶなしめじ	119,545	123,134	3,589	103.0
まいたけ	54,521	57,299	2,778	105.1
エリンギ	38,344	37,798	△ 546	98.6
まつたけ	39	36	△ 3	92.3
きくらげ類計	3,031	3,056	25	100.8
乾きくらげ類 （生換算値）	148 (1,476)	137 (1,373)	△ 11	92.6
生きくらげ類	1,555	1,683	128	108.2
その他きのこ	1,854	2,089	235	112.7
たけのこ	19,917	20,509	592	103.0
木炭計	11,550	11,882	332	102.9
白炭	2,860	2,810	△ 50	98.3
黒炭	4,098	3,952	△ 146	96.4
粉炭	4,591	5,119	528	111.5
竹炭	459	426	△ 33	92.8
オガ炭	5,156	4,773	△ 383	92.6

注：食用きのこ類計、しいたけ計及びきくらげ類計は生換算値を用いて算出。

本件に関する情報や資料は、次のURLをご覧ください。確報値は8月末に公表予定です。

農林水産省HP：https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokuyo_rinsan/

林野庁HP：<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/tokusan/index.html>



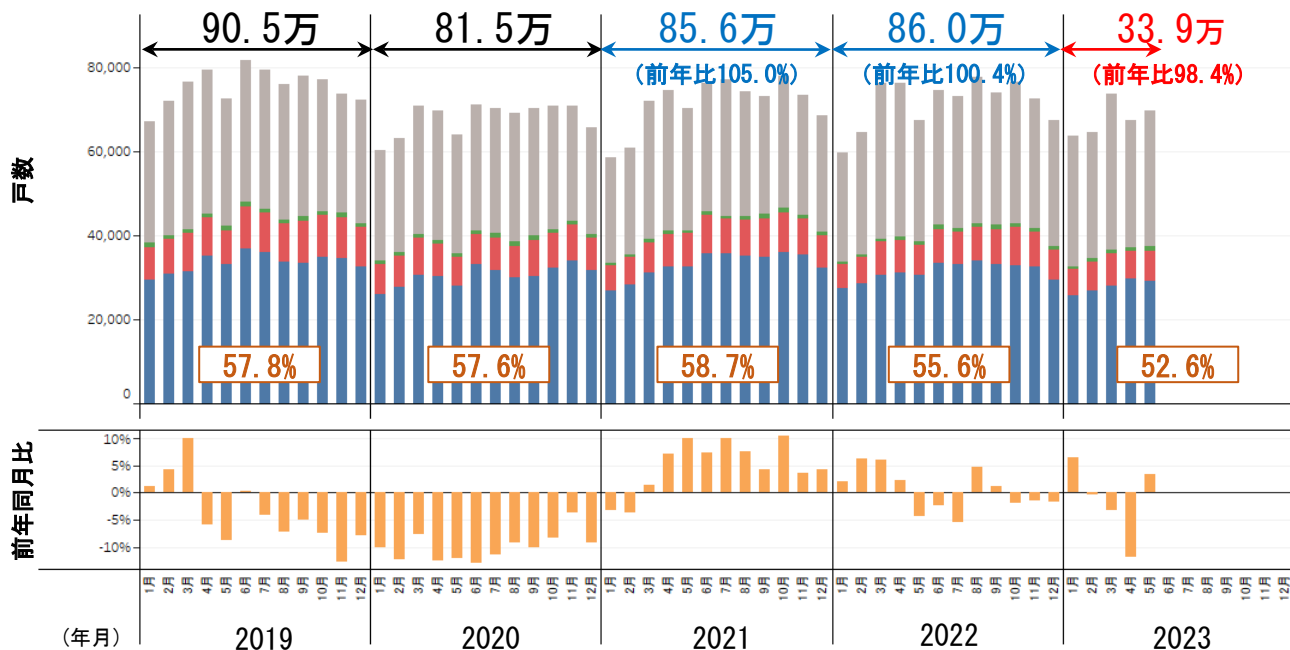
農林水産省HP



林野庁HP

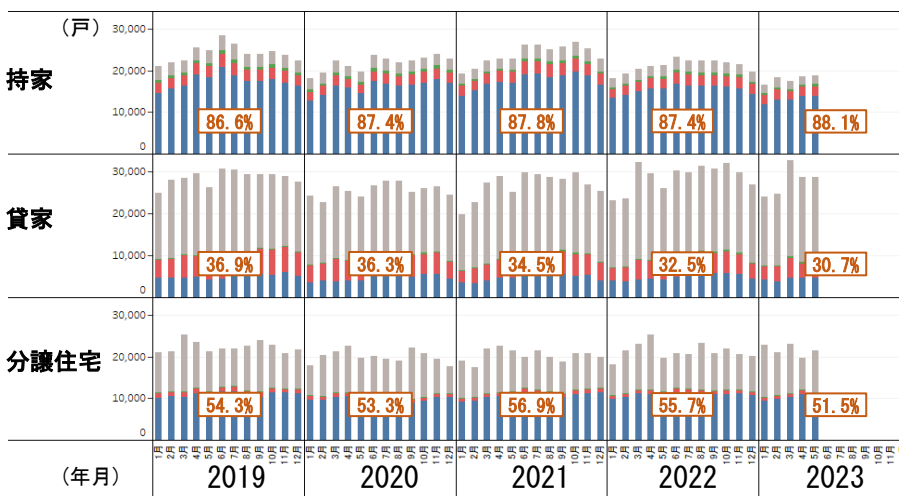
基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2022年の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）
- 2023年1～5月の新設住宅着工戸数は、33.9万戸（前年同期比98.4%）、このうち木造住宅は17.8万戸（同95.4%）。



(単位: 戸)

構造別の着工戸数	2023年 1～5月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	338,534	343,942	98.4%	335,698	100.8%
■非木造	160,568	157,484	102.0%	145,630	110.3%
木造	177,966	186,458	95.4%	190,068	93.6%
■木造プレハブ	4,183	3,570	117.2%	3,693	113.3%
■2×4	34,513	34,812	99.1%	35,234	98.0%
■在来軸組	139,270	148,076	94.1%	151,141	92.1%
□木造率	52.6%	54.2%		56.6%	



資料: 国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（構造別）

（単位：千戸、％）

年・月	合計		木造									非木造		木造率	戸数	
			計		在来軸組		2×4		プレハブ		年率				季節調整値	
			前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比					
2019年	1	67	101	38	98	29	99	7.9	91	1.0	105	29	106	56.8	872	102
	2	72	104	40	104	31	106	8.3	100	0.9	85	32	104	55.6	967	104
	3	77	110	41	104	31	104	9.1	105	0.9	95	35	118	54.1	989	110
	4	79	94	45	100	35	103	9.0	88	1.1	120	34	88	56.9	931	94
	5	73	91	42	97	33	97	8.2	97	1.0	115	30	84	58.2	900	90
	6	82	100	48	104	37	105	10.0	99	1.2	104	33	96	59.0	922	101
	7	79	96	46	99	36	100	9.4	96	1.1	95	33	92	58.5	910	95
	8	76	93	44	93	34	94	9.0	88	1.0	92	32	93	57.4	891	93
	9	78	95	44	92	34	91	9.9	93	1.0	95	33	100	57.0	897	95
	10	77	93	46	91	35	92	9.9	87	1.1	82	31	95	59.3	879	93
	11	74	87	45	94	34	94	9.8	95	1.1	93	28	78	61.6	834	87
	12	72	92	43	91	33	92	9.2	89	1.0	89	29	93	59.3	852	89
2020年	1	60	90	34	89	26	89	7.0	89	0.8	82	26	91	56.1	813	93
	2	63	88	36	90	28	90	7.3	88	0.8	88	27	85	56.8	871	90
	3	71	92	40	97	31	97	8.7	95	0.9	102	31	87	56.8	905	92
	4	70	88	39	86	30	86	7.7	86	0.8	75	31	90	55.8	801	86
	5	64	88	36	84	28	85	6.8	83	0.9	96	28	93	55.8	809	90
	6	71	87	41	86	33	90	7.3	73	1.0	79	30	89	58.0	790	86
	7	70	89	40	87	32	88	7.8	84	0.9	89	30	91	57.6	828	91
	8	69	91	38	88	30	89	7.5	83	1.0	102	31	95	55.6	819	92
	9	70	90	40	90	30	91	8.6	87	1.0	92	30	90	56.9	815	91
	10	71	92	41	91	32	93	8.2	84	0.9	89	29	93	58.6	802	91
	11	71	96	43	96	34	98	8.6	87	1.0	92	27	97	61.3	820	98
	12	66	91	40	94	32	97	7.6	82	0.9	92	25	87	61.3	784	92
2021年	1	58	97	33	99	27	103	5.9	85	0.6	82	25	95	57.1	801	99
	2	61	96	35	99	28	101	6.6	90	0.7	93	25	93	58.3	808	93
	3	72	101	39	97	31	102	7.0	81	0.8	93	33	107	54.3	880	97
	4	75	107	41	106	32	107	7.8	101	0.8	96	33	109	55.1	883	110
	5	70	110	41	115	33	116	7.9	116	0.8	80	29	103	58.6	875	108
	6	76	107	46	111	36	109	8.9	122	1.1	111	31	102	60.0	866	110
	7	77	110	45	110	36	112	8.3	106	0.8	86	33	109	57.9	926	112
	8	74	108	45	116	35	117	8.7	116	1.0	98	30	97	60.0	855	104
	9	73	104	45	113	35	115	9.2	108	1.1	117	28	93	61.7	845	104
	10	78	110	46	112	36	112	9.4	114	1.1	114	32	108	59.5	892	111
	11	73	104	45	103	35	104	8.5	100	1.0	101	29	104	61.1	848	103
	12	68	104	41	102	32	102	7.8	103	0.8	91	28	108	59.7	838	107
2022年	1	60	102	34	101	27	102	5.9	99	0.6	87	26	104	56.5	820	102
	2	65	106	35	100	29	101	6.2	94	0.7	100	29	115	54.8	872	108
	3	76	106	39	101	31	98	7.9	113	0.8	95	37	113	51.5	927	105
	4	76	102	40	97	31	96	7.6	98	0.8	107	37	109	52.0	885	100
	5	67	96	38	93	31	94	7.2	91	0.7	93	29	99	57.2	828	95
	6	75	98	42	93	33	93	8.1	92	0.9	89	32	105	56.8	845	98
	7	73	95	42	93	33	93	7.6	92	1.0	116	31	96	57.2	825	89
	8	78	105	43	96	34	97	8.0	93	1.0	103	35	117	55.2	903	106
	9	74	101	42	94	33	95	8.4	91	0.9	80	32	113	57.3	858	101
	10	77	98	43	92	33	92	8.9	95	1.0	96	34	107	55.9	867	97
	11	72	99	42	93	33	92	8.2	97	1.0	97	31	107	57.7	842	99
	12	67	98	37	91	29	91	7.1	91	0.8	101	30	108	55.6	846	101
2023年	1	64	107	33	96	26	94	6.1	105	0.7	124	31	120	51.1	893	109
	2	64	100	34	97	27	94	6.8	109	0.8	119	30	102	53.5	859	99
	3	74	97	37	93	28	92	7.7	97	0.8	105	37	101	49.6	877	95
	4	67	88	37	94	30	95	6.6	86	1.0	116	30	82	55.3	771	87
	5	70	103	37	97	29	95	7.3	102	0.9	125	32	112	53.6	862	104
2019年	第1四半期	216	105	120	102	92	103	25	99	2.7	94	96	109	55.4	942	106
	第2四半期	234	95	135	100	105	102	27	95	3.3	112	98	89	58.0	918	95
	第3四半期	233	95	134	94	103	95	28	92	3.1	94	99	95	57.7	899	94
	第4四半期	223	91	134	92	102	93	29	90	3.1	88	89	88	60.1	855	89
2020年	第1四半期	194	90	110	92	84	92	23	91	2.4	90	84	88	56.6	863	92
	第2四半期	205	88	116	85	91	87	22	80	2.7	83	89	91	56.6	800	87
	第3四半期	210	90	119	88	92	89	24	85	2.9	94	91	92	56.7	821	91
	第4四半期	207	93	125	93	98	96	24	84	2.8	91	82	92	60.4	802	94
2021年	第1四半期	191	98	108	98	86	102	20	85	2.2	89	83	99	56.5	830	96
	第2四半期	221	108	128	111	101	110	25	113	2.6	95	93	105	57.9	875	109
	第3四半期	225	107	134	113	105	114	26	110	2.9	100	90	99	59.8	876	107
	第4四半期	220	106	132	106	104	106	26	105	2.9	102	88	107	60.1	859	107
2022年	第1四半期	200	105	108	100	86	100	20	102	2.0	94	92	111	54.1	873	105
	第2四半期	218	99	120	94	95	94	23	94	2.5	96	98	105	55.2	853	97
	第3四半期	225	100	127	95	100	95	24	92	2.8	98	98	108	56.5	862	98
	第4四半期	216	98	122	92	95	92	24	94	2.8	98	94	107	56.4	851	99
2023年	第1四半期	202	101	104	96	81	93	21	103	2.3	115	98	107	51.3	876	100

資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（利用關係別・資金別）

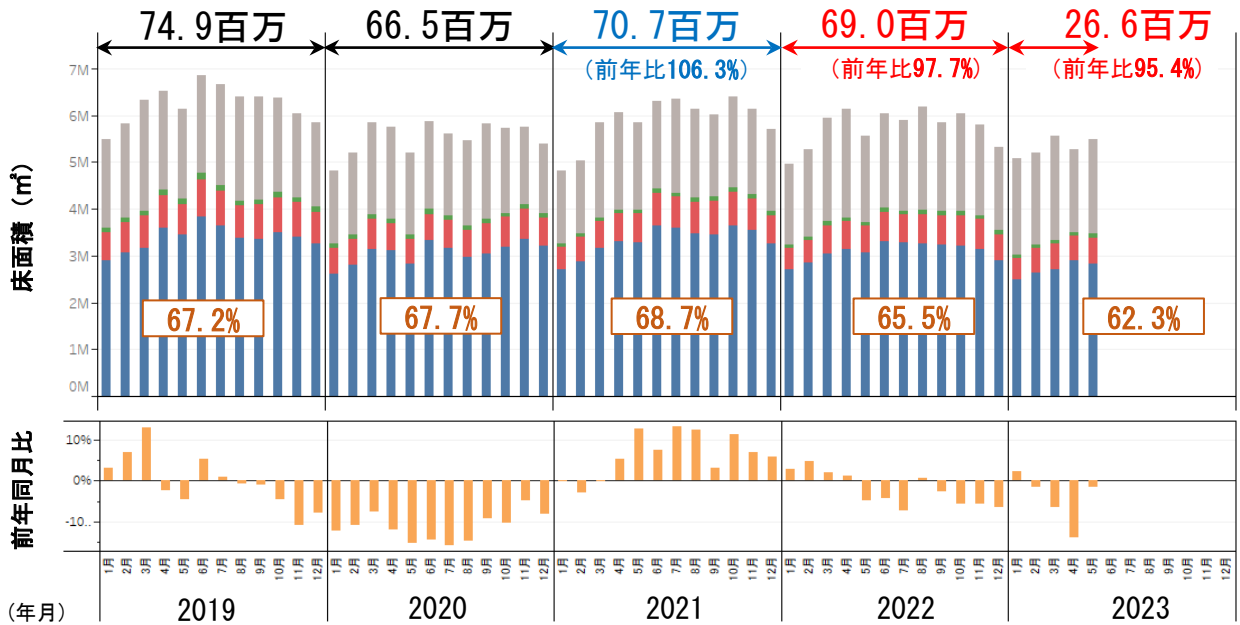
(単位:千戸、%)

年・月	合計	利用關係別												資金別					
		持家		貸家		給与		分譲		一戸建		共同住宅		民間		公的			
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比				
2019年	1	67	101	21	103	25	88	0.5	118	21	120	11	104	10	145	60	102	7	95
	2	72	104	22	110	28	95	0.9	140	21	111	12	112	9	110	64	104	8	105
	3	77	110	22	109	28	96	0.4	162	25	133	12	107	14	169	69	110	8	110
	4	79	94	25	109	30	83	1.0	176	23	94	13	103	11	85	71	95	8	88
	5	73	91	25	106	26	84	0.4	31	21	89	12	100	9	77	64	89	8	112
	6	82	100	28	113	31	88	0.6	66	22	108	13	110	9	105	73	102	8	91
	7	79	96	26	103	30	85	0.6	143	22	105	13	109	9	100	71	97	8	86
	8	76	93	24	98	29	83	0.2	36	23	106	12	102	10	110	68	93	8	91
	9	78	95	24	97	29	83	0.5	75	24	114	12	100	12	133	70	95	8	97
	10	77	93	24	94	29	84	0.3	41	23	107	13	101	10	116	69	93	8	90
	11	74	87	24	93	29	82	0.3	48	21	90	13	101	8	76	65	87	8	93
	12	72	92	22	91	28	90	0.7	167	22	95	12	96	9	94	65	92	8	90
2020年	1	60	90	18	86	24	97	0.3	63	18	85	11	97	7	72	54	89	7	98
	2	63	88	20	89	23	81	0.5	63	20	96	11	92	9	102	56	88	7	86
	3	71	92	22	100	27	93	0.6	145	21	84	12	99	10	71	63	91	8	105
	4	70	88	21	83	25	86	0.6	60	23	96	12	92	11	102	62	88	7	86
	5	64	88	20	79	24	92	0.3	92	20	93	10	87	9	101	58	90	6	70
	6	71	87	24	83	27	87	0.6	94	20	92	12	89	8	97	64	88	7	82
	7	70	89	23	86	28	91	0.5	77	19	88	11	83	8	96	63	89	7	88
	8	69	91	22	91	28	95	0.6	248	19	84	9	77	9	92	63	92	6	81
	9	70	90	22	93	25	85	0.6	137	22	92	10	84	12	100	64	92	6	73
	10	71	92	23	94	26	89	0.9	293	21	90	11	84	10	98	64	93	6	78
	11	71	96	24	102	26	92	0.8	292	20	94	11	90	8	101	64	98	7	83
	12	66	91	23	102	24	88	0.8	115	18	82	11	91	6	69	59	91	7	87
2021年	1	58	97	19	106	20	82	0.4	121	19	107	10	94	9	128	53	99	5	80
	2	61	96	20	104	23	100	0.4	77	17	85	10	96	7	73	55	97	6	88
	3	72	101	22	100	27	103	0.4	59	22	103	11	97	10	110	65	104	7	81
	4	75	107	23	109	29	114	0.3	55	22	100	12	99	11	100	68	109	7	93
	5	70	110	23	116	25	104	0.8	230	21	108	12	114	10	103	63	109	7	119
	6	76	107	26	111	30	112	0.5	81	20	98	13	109	7	84	70	109	7	96
	7	77	110	26	115	29	106	0.4	83	21	111	12	113	9	108	70	111	7	96
	8	74	108	25	115	29	104	0.5	92	20	105	12	125	8	86	67	107	7	113
	9	73	104	26	115	28	113	0.4	64	19	85	12	115	7	61	67	104	6	104
	10	78	110	27	117	30	115	0.5	55	21	101	12	115	9	85	71	110	7	112
	11	73	104	25	105	27	101	0.5	57	21	106	13	110	8	102	67	105	6	91
	12	68	104	23	100	25	103	0.5	66	20	113	13	112	7	114	63	106	6	88
2022年	1	60	102	18	94	23	117	0.3	88	18	95	11	108	7	80	55	103	5	92
	2	65	106	19	94	24	105	0.3	76	21	123	12	111	10	142	59	108	5	87
	3	76	106	20	91	32	119	0.4	112	23	106	12	110	11	102	70	107	7	100
	4	76	102	21	92	30	102	0.5	155	25	112	12	107	13	117	70	104	6	88
	5	67	96	21	93	26	104	0.3	44	20	91	12	101	8	80	62	98	6	79
	6	75	98	23	89	30	102	0.4	90	21	104	13	100	8	111	68	98	6	98
	7	73	95	22	86	30	102	0.3	74	21	96	12	102	8	88	66	94	7	102
	8	78	105	22	89	31	109	1.0	179	23	116	12	105	11	133	71	105	7	101
	9	74	101	22	87	31	108	0.4	86	21	110	12	107	8	115	68	102	6	92
	10	77	98	22	81	32	107	0.9	182	22	105	12	101	9	110	68	96	8	117
	11	72	99	22	85	30	111	0.3	76	21	99	12	99	8	99	65	97	7	113
	12	67	98	20	87	27	106	0.4	85	20	101	12	94	8	114	61	98	6	106
2023年	1	64	107	17	92	24	104	0.2	74	23	125	11	96	12	170	56	103	7	149
	2	64	100	18	95	25	105	0.3	95	21	98	11	97	10	100	60	100	5	93
	3	74	97	17	86	33	101	0.6	134	23	100	12	93	11	107	67	96	7	104
	4	67	88	19	88	29	97	0.3	51	20	78	12	99	7	57	61	86	6	109
	5	70	103	19	88	29	111	0.6	179	21	109	12	98	10	128	64	103	6	103
2019年	第1四半期	216	105	65	107	81	93	1.8	138	67	121	35	108	32	140	193	105	23	104
	第2四半期	234	95	79	110	86	85	2.0	74	66	96	38	104	29	87	209	95	25	96
	第3四半期	233	95	74	99	89	83	1.3	77	68	108	37	104	31	114	209	95	24	91
	第4四半期	223	91	70	93	86	85	1.3	73	65	97	38	99	27	94	199	91	24	91
2020年	第1四半期	194	90	60	92	73	90	1.5	84	59	88	33	96	26	80	172	89	22	96
	第2四半期	205	88	64	82	76	88	1.6	76	63	94	34	89	29	100	185	89	20	79
	第3四半期	210	90	67	90	80	90	1.7	128	60	88	30	81	30	96	190	91	19	80
	第4四半期	207	93	70	99	77	90	2.5	198	58	89	33	88	24	89	187	94	20	83
2021年	第1四半期	191	98	62	103	70	95	1.2	78	58	98	32	96	26	101	173	100	18	83
	第2四半期	221	108	72	112	84	110	1.6	104	64	102	36	107	28	96	201	109	20	102
	第3四半期	225	107	77	115	86	107	1.3	79	60	100	36	117	25	82	205	108	20	104
	第4四半期	220	106	75	107	82	106	1.5	59	62	106	38	113	24	98	201	107	19	97
2022年	第1四半期	200	105	58	93	79	113	1.1	92	63	108	35	109	28	105	184	106	17	93
	第2四半期	218	99	66	91	86	102	1.3	81	65	103	37	103	28	102	200	100	18	88
	第3四半期	225	100	67	87	92	106	1.6	119	65	107	37	104	27	111	205	100	20	99
	第4四半期	216	98	63	84	89	108	1.7	116	63	102	37	98	26	108	195	97	21	113
2023年	第1四半期	202	101	52	91	81	103	1.1	104	67	106	33	95	33	121	183	99	19	114

資料:国土交通省「住宅着工統計」

基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

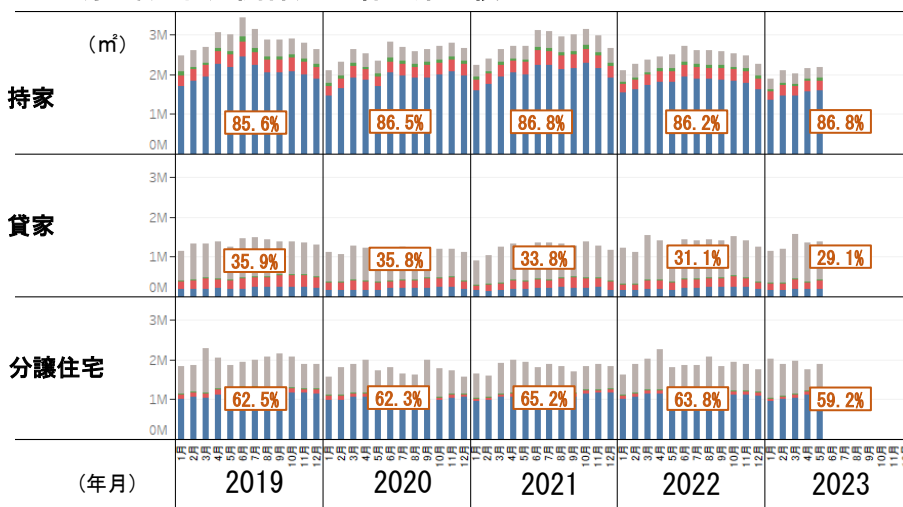
- 2022年の新設住宅着工床面積は、69.0百万㎡（前年比97.7%）、このうち木造住宅は45.2百万㎡（同93.0%）。
- 2023年1～5月の新設住宅着工床面積は、26.6百万㎡（前年同期比95.4%）、このうち木造住宅は16.6百万㎡（同92.7%）。



(単位：千㎡)

構造別の 着工床面積	2023年 1～5月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	26,614	27,903	95.4%	27,624	96.3%
■非木造	10,023	10,004	100.2%	9,094	110.2%
木造	16,591	17,899	92.7%	18,530	89.5%
■木造プレハブ	397	367	108.0%	385	103.2%
■2×4	2,647	2,710	97.7%	2,805	94.4%
■在来軸組	13,547	14,821	91.4%	15,341	88.3%
□木造率	62.3%	64.1%		67.1%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（構造別）

基礎的指標-2

（単位：千㎡、％）

年・月	合計		木造									非木造		木造率	木造1戸 当りの 床面積 (㎡/戸)
			計		在来軸組		2×4		プレハブ						
			前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比					
2019年	1	5,484	103	3,607	100	2,892	102	611	93	105	104	1,877	108	65.8	94.6
	2	5,828	107	3,818	108	3,077	110	645	103	95	87	2,011	106	65.5	95.4
	3	6,320	113	3,954	106	3,169	107	690	106	95	96	2,366	126	62.6	95.4
	4	6,532	98	4,413	104	3,592	106	708	92	112	112	2,119	86	67.6	97.7
	5	6,126	95	4,210	102	3,441	103	666	98	103	105	1,916	84	68.7	99.7
	6	6,849	105	4,760	109	3,840	111	787	102	133	106	2,089	97	69.5	99.0
	7	6,656	101	4,508	103	3,652	104	738	97	118	95	2,148	97	67.7	97.3
	8	6,397	99	4,175	96	3,378	98	696	89	102	89	2,221	105	65.3	95.6
	9	6,412	99	4,204	96	3,359	96	740	93	104	89	2,208	106	65.6	92.6
	10	6,386	95	4,357	95	3,505	97	743	87	109	83	2,030	97	68.2	93.2
	11	6,036	89	4,253	95	3,411	95	735	93	108	92	1,783	78	70.5	93.8
	12	5,850	92	4,040	93	3,258	95	683	86	99	83	1,810	91	69.1	94.3
2020年	1	4,821	88	3,249	90	2,620	91	547	90	81	78	1,572	84	67.4	96.0
	2	5,194	89	3,442	90	2,796	91	563	87	83	87	1,752	87	66.3	96.1
	3	5,848	93	3,886	98	3,142	99	653	95	92	96	1,962	83	66.4	96.8
	4	5,758	88	3,779	86	3,111	87	584	82	83	74	1,980	93	65.6	97.3
	5	5,195	85	3,441	82	2,833	82	516	77	92	89	1,754	92	66.2	96.6
	6	5,861	86	3,997	84	3,325	87	569	72	104	78	1,864	89	68.2	97.0
	7	5,616	84	3,857	86	3,153	86	606	82	97	83	1,760	82	68.7	95.3
	8	5,466	85	3,643	87	2,982	88	567	81	94	93	1,823	82	66.6	94.8
	9	5,825	91	3,784	90	3,040	90	647	87	97	93	2,040	92	65.0	94.8
	10	5,735	90	3,919	90	3,200	91	627	84	92	85	1,816	89	68.3	94.6
	11	5,750	95	4,097	96	3,351	98	645	88	101	94	1,653	93	71.3	94.4
	12	5,385	92	3,899	96	3,218	99	588	86	93	93	1,486	82	72.4	97.0
2021年	1	4,825	100	3,266	101	2,705	103	492	90	69	85	1,559	99	67.7	97.8
	2	5,045	97	3,473	101	2,881	103	522	93	70	84	1,572	90	68.8	98.0
	3	5,838	100	3,818	98	3,176	101	558	85	85	93	2,020	103	65.4	97.9
	4	6,064	105	3,990	106	3,297	106	610	104	83	100	2,074	105	65.8	97.2
	5	5,852	113	3,983	116	3,282	116	623	121	78	85	1,869	107	68.1	96.8
	6	6,295	107	4,445	111	3,635	109	703	124	107	103	1,849	99	70.6	97.2
	7	6,352	113	4,344	113	3,603	114	656	108	85	87	2,008	114	68.4	97.3
	8	6,147	112	4,251	117	3,476	117	675	119	100	106	1,897	104	69.1	95.3
	9	6,012	103	4,267	113	3,463	114	700	108	104	107	1,746	86	71.0	94.6
	10	6,390	111	4,464	114	3,641	114	716	114	108	116	1,925	106	69.9	96.2
	11	6,143	107	4,310	105	3,556	106	656	102	98	97	1,833	111	70.2	96.0
	12	5,702	106	3,953	101	3,258	101	611	104	84	91	1,749	118	69.3	96.7
2022年	1	4,968	103	3,232	99	2,710	100	464	94	58	84	1,736	111	65.1	95.9
	2	5,282	105	3,416	98	2,851	99	493	94	72	103	1,867	119	64.7	96.5
	3	5,953	102	3,728	98	3,053	96	595	107	80	94	2,225	110	62.6	95.0
	4	6,134	101	3,811	96	3,133	95	595	98	83	100	2,323	112	62.1	96.0
	5	5,566	95	3,713	93	3,075	94	563	90	75	96	1,854	99	66.7	96.6
	6	6,029	96	4,034	91	3,311	91	627	89	96	90	1,995	108	66.9	95.2
	7	5,886	93	3,963	91	3,276	91	598	91	88	104	1,923	96	67.3	94.9
	8	6,180	101	3,970	93	3,269	94	606	90	94	94	2,210	116	64.2	92.5
	9	5,848	97	3,948	93	3,225	93	635	91	88	84	1,901	109	67.5	93.1
	10	6,030	94	3,958	89	3,201	88	664	93	93	86	2,072	108	65.6	92.4
	11	5,806	95	3,870	90	3,152	89	625	95	93	96	1,936	106	66.7	92.7
	12	5,328	93	3,543	90	2,896	89	562	92	84	100	1,786	102	66.5	94.8
2023年	1	5,075	102	3,028	94	2,482	92	478	103	68	117	2,048	118	59.7	93.1
	2	5,201	98	3,243	95	2,633	92	530	108	80	111	1,959	105	62.3	94.0
	3	5,568	94	3,343	90	2,708	89	559	94	76	95	2,225	100	60.0	91.5
	4	5,283	86	3,504	92	2,893	92	524	88	88	106	1,779	77	66.3	94.3
	5	5,487	99	3,474	94	2,831	92	556	99	86	114	2,013	109	63.3	93.2
2019年計		74,876	99	50,298	100	40,571	102	8,443	95	1,284	95	24,578	98	67.2	95.7
2020年計		66,454	89	44,991	89	36,770	91	7,111	84	1,110	86	21,463	87	67.7	95.9
2021年計		70,666	106	48,564	108	39,972	109	7,523	106	1,070	96	22,102	103	68.7	96.7
2022年計		69,010	98	45,184	93	37,153	93	7,027	93	1,004	94	23,826	108	65.5	94.5
2019年	第1四半期	17,632	108	11,378	105	9,137	106	1,947	101	295	95	6,254	113	64.5	95.2
	第2四半期	19,507	99	13,383	105	10,873	107	2,161	97	349	108	6,124	89	68.6	98.8
	第3四半期	19,465	100	12,887	98	10,388	100	2,175	93	324	91	6,578	103	66.2	95.2
	第4四半期	18,272	92	12,650	94	10,173	96	2,161	89	316	86	5,622	89	69.2	93.8
2020年	第1四半期	15,863	90	10,577	93	8,558	94	1,763	91	256	87	5,286	85	66.7	96.3
	第2四半期	16,815	86	11,216	84	9,269	85	1,669	77	279	80	5,598	91	66.7	96.9
	第3四半期	16,907	87	11,283	88	9,175	88	1,820	84	289	89	5,623	85	66.7	95.0
	第4四半期	16,870	92	11,915	94	9,769	96	1,859	86	286	91	4,955	88	70.6	95.3
2021年	第1四半期	15,708	99	10,557	100	8,761	102	1,572	89	224	87	5,152	97	67.2	97.9
	第2四半期	18,211	108	12,419	111	10,215	110	1,936	116	268	96	5,792	103	68.2	97.1
	第3四半期	18,512	109	12,862	114	10,541	115	2,031	112	289	100	5,651	100	69.5	95.7
	第4四半期	18,235	108	12,727	107	10,454	107	1,983	107	289	101	5,508	111	69.8	96.3
2022年	第1四半期	16,203	103	10,375	98	8,614	98	1,552	99	209	94	5,828	113	64.0	95.8
	第2四半期	17,729	97	11,558	93	9,519	93	1,785	92	254	95	6,171	107	65.2	95.9
	第3四半期	17,914	97	11,880	92	9,770	93	1,840	91	270	93	6,034	107	66.3	93.5
	第4四半期	17,164	94	11,370	89	9,250	88	1,850	93	270	93	5,794	105	66.2	93.2
2023年	第1四半期	15,844	98	9,613	93	7,823	91	1,567	101	223	107	6,232	107	60.7	92.8

資料：国土交通省「住宅着工統計」

〈参考〉非居住用建築物着工床面積

(單位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
			前年比	木造	前年比	非木造	前年比
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
	2	3,570	96	224	100	3,346	96
	3	2,803	77	226	93	2,577	76
	4	4,804	99	306	107	4,498	98
	5	3,254	83	325	102	2,930	81
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75
2023年	第1四半期	10,271	97	666	98	9,605	97

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

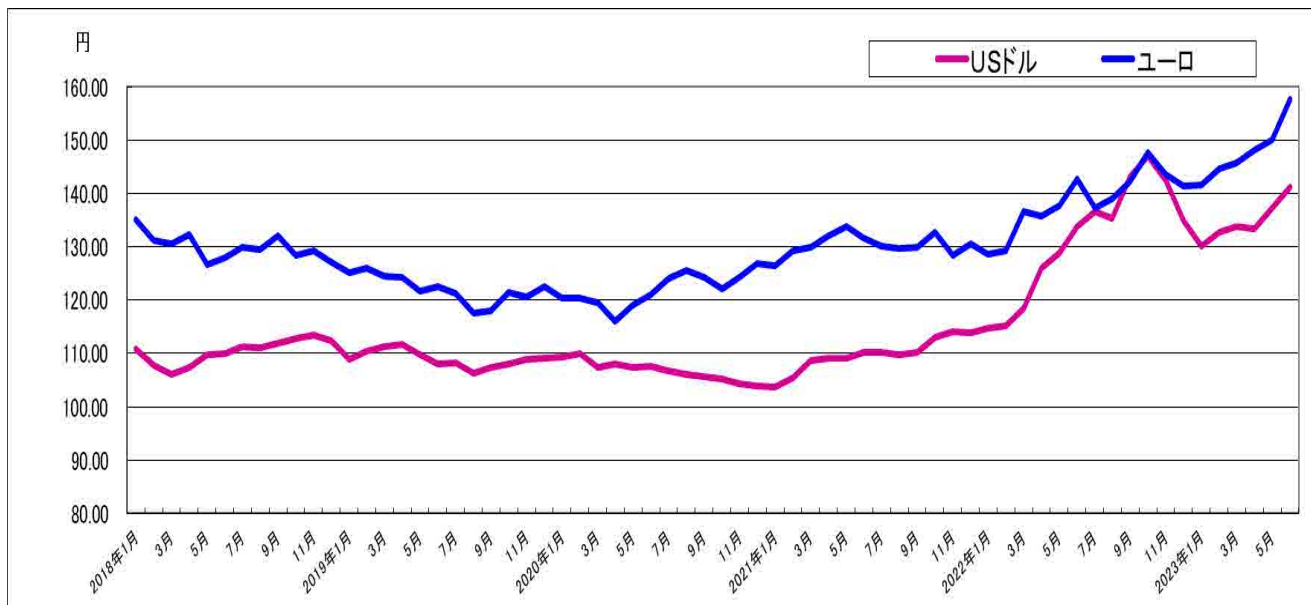
基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2022年は、木材産業の倒産件数が13件（前年比68%）、負債金額が7,645百万円（同177%）。
- 2023年1～5月は、木材産業の倒産件数が13件（前年同期比163%）、負債金額が3,116百万円（同61%）。

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2020年	1	773	116	124,734	74	0	0	0	-
	2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	-	0	-
	7	494	104	84,570	118	0	-	0	-
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
	9	599	119	144,871	159	1	50	45	20
	10	596	114	86,995	88	1	-	200	-
	11	581	114	115,589	123	1	-	86	-
	12	606	120	79,172	85	1	100	331	331
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
	2	577	126	96,580	136	1	-	154	-
	3	809	136	147,434	87	4	100	1,340	67
	4	610	126	203,861	251	3	150	1,122	39
	5	706	135	278,734	319	2	200	270	150
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2022年計		6,428	107	2,331,443	203	13	68	7,645	177
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89
	第3四半期	1,585	110	340,869	135	2	67	1,925	802
	第4四半期	1,783	116	281,756	99	3	300	617	617
2023年	第1四半期	1,956	130	300,538	98	8	160	1,724	85

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2023年6月の為替相場は、1ドル141.19円、1ユーロ157.60円。



(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95

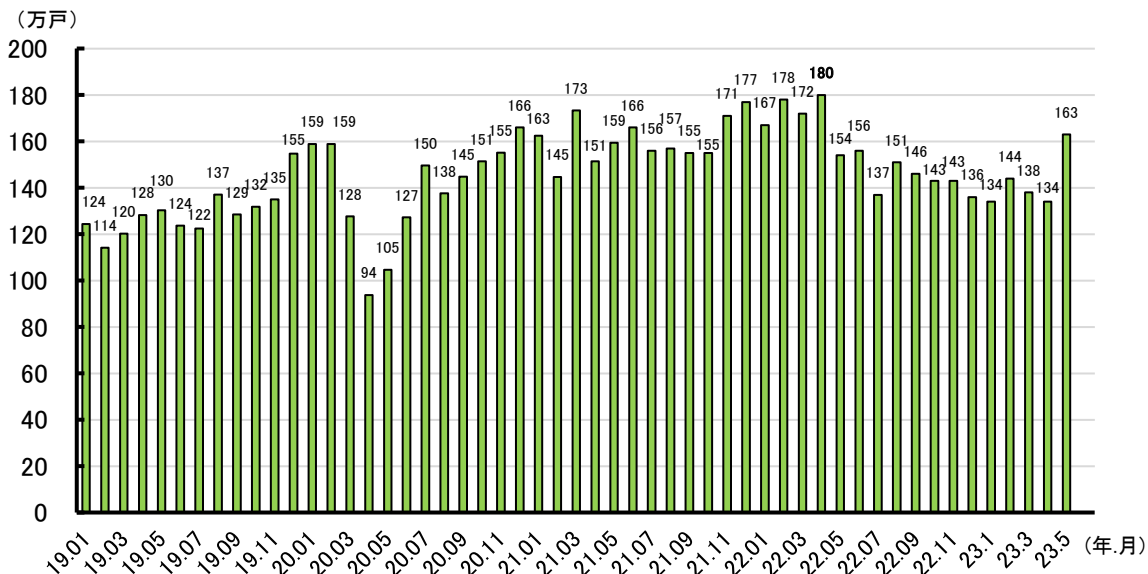
(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32
10月	147.01	147.59
11月	142.44	143.58
12月	134.93	141.47
2023年1月	130.20	141.56
2月	132.68	144.61
3月	133.85	145.72
4月	133.33	148.04
5月	137.37	150.04
6月	141.19	157.60

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

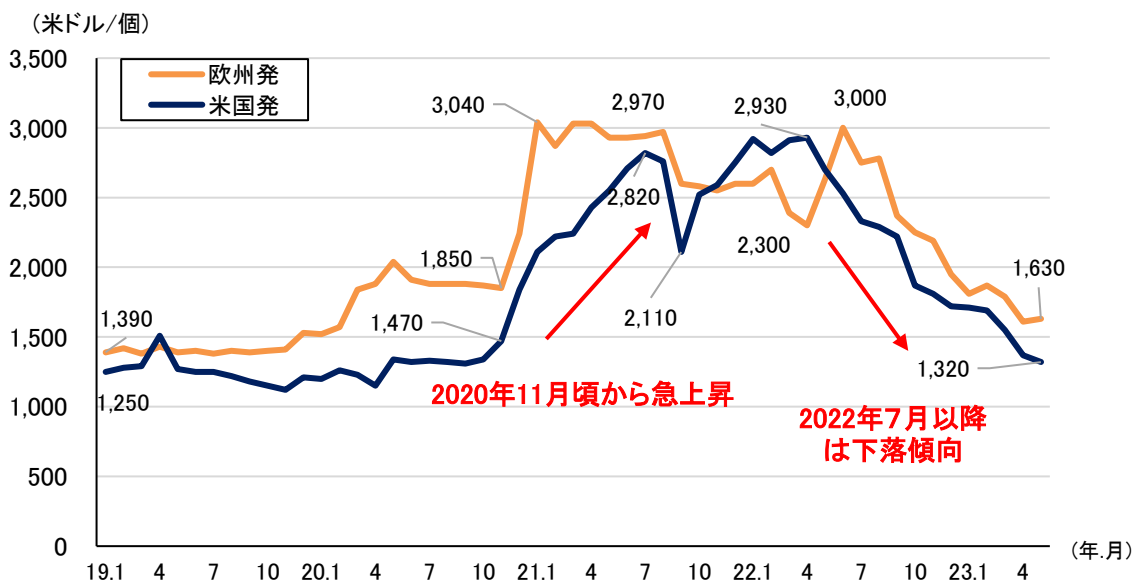
- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後、コロナ禍による在宅需要増加と住宅ローン金利低下により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には180万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利が急騰により下落傾向が続いてたが、2023年5月は前月比122%の163万戸となった。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持していたが、2022年7月以降は下落傾向が続いている。

○米国における住宅着工戸数



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移



注：40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

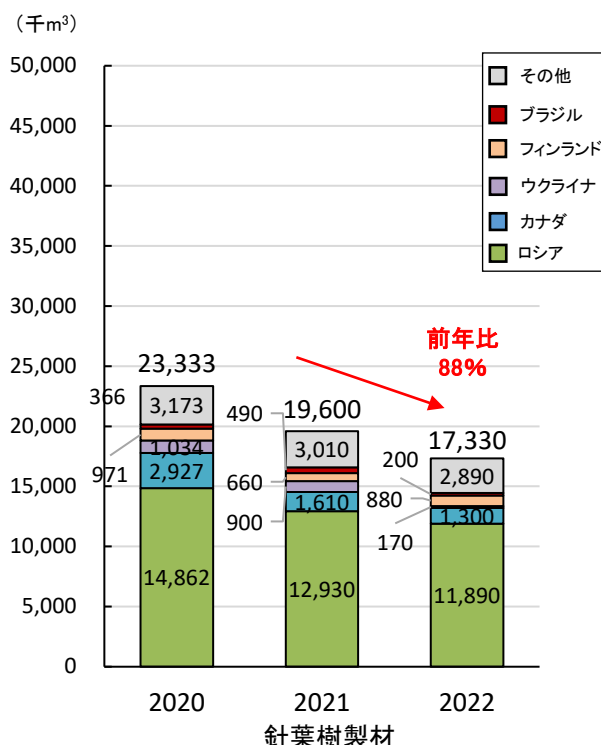
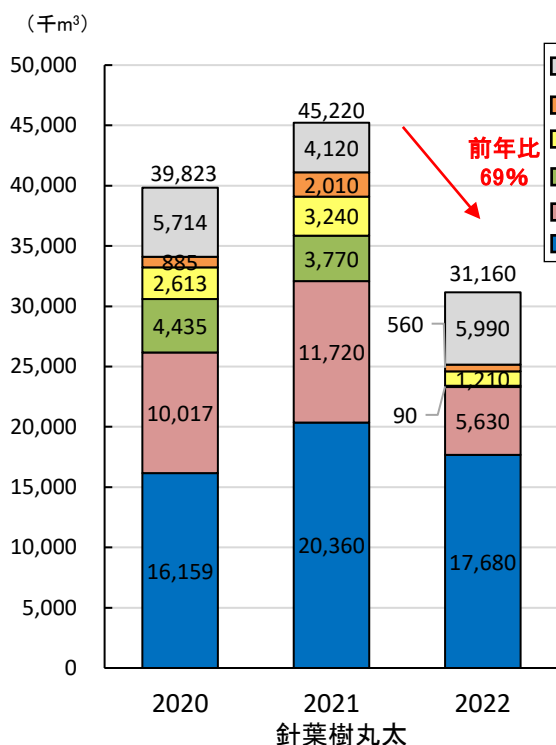
出典：Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

基礎的指標-6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

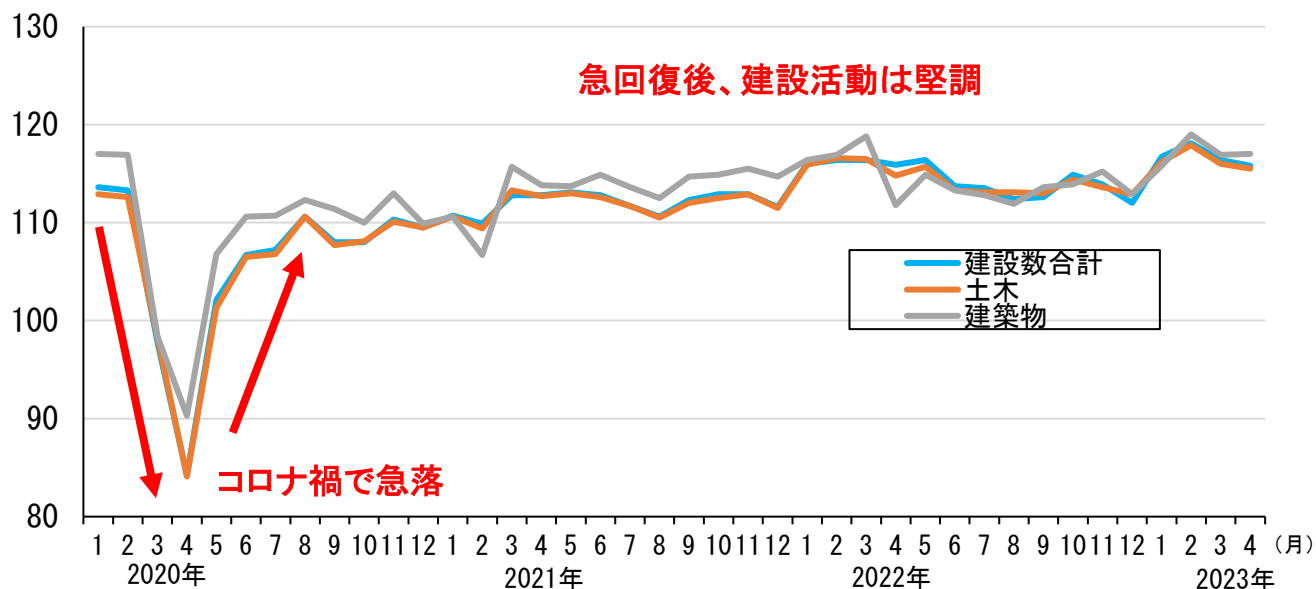
- 2022年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比69%の31,160千m³。針葉樹製材輸入量は、前年比88%の17,330千m³。輸入量減少の主な要因として、産地側の事情とともに、中国当局による新型コロナウイルス感染防止のためのロックダウン（都市封鎖）に伴う総需要量の後退が影響。
- EUでは、コロナ禍により、2020年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

○中国の木材輸入量（2020年～2022年）



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5), Vol 27 (3) (4))

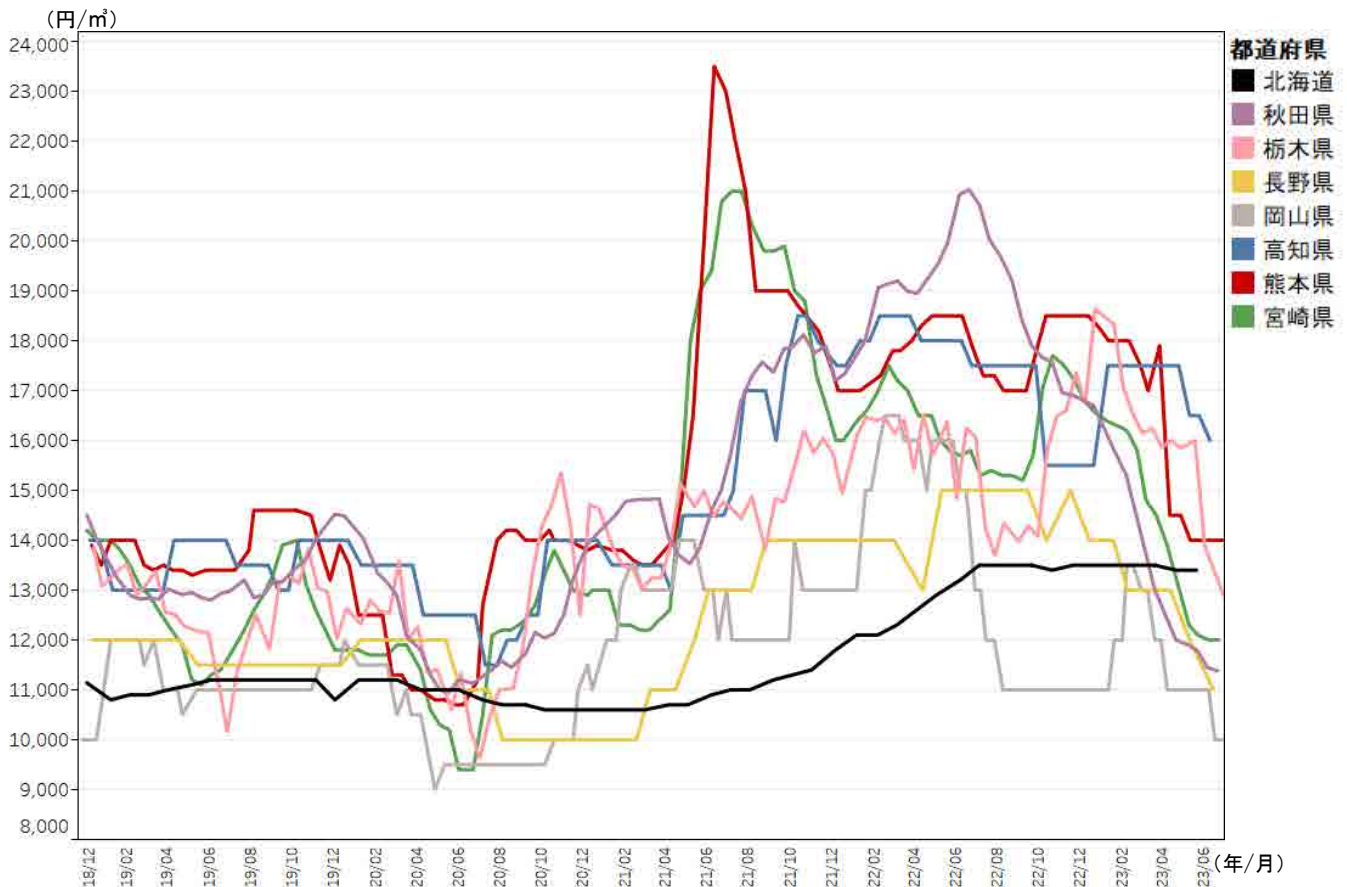
○EUにおける建設活動水準（2015年比）
2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,000円～16,000円/m³となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定原木市場・共販所の価格。

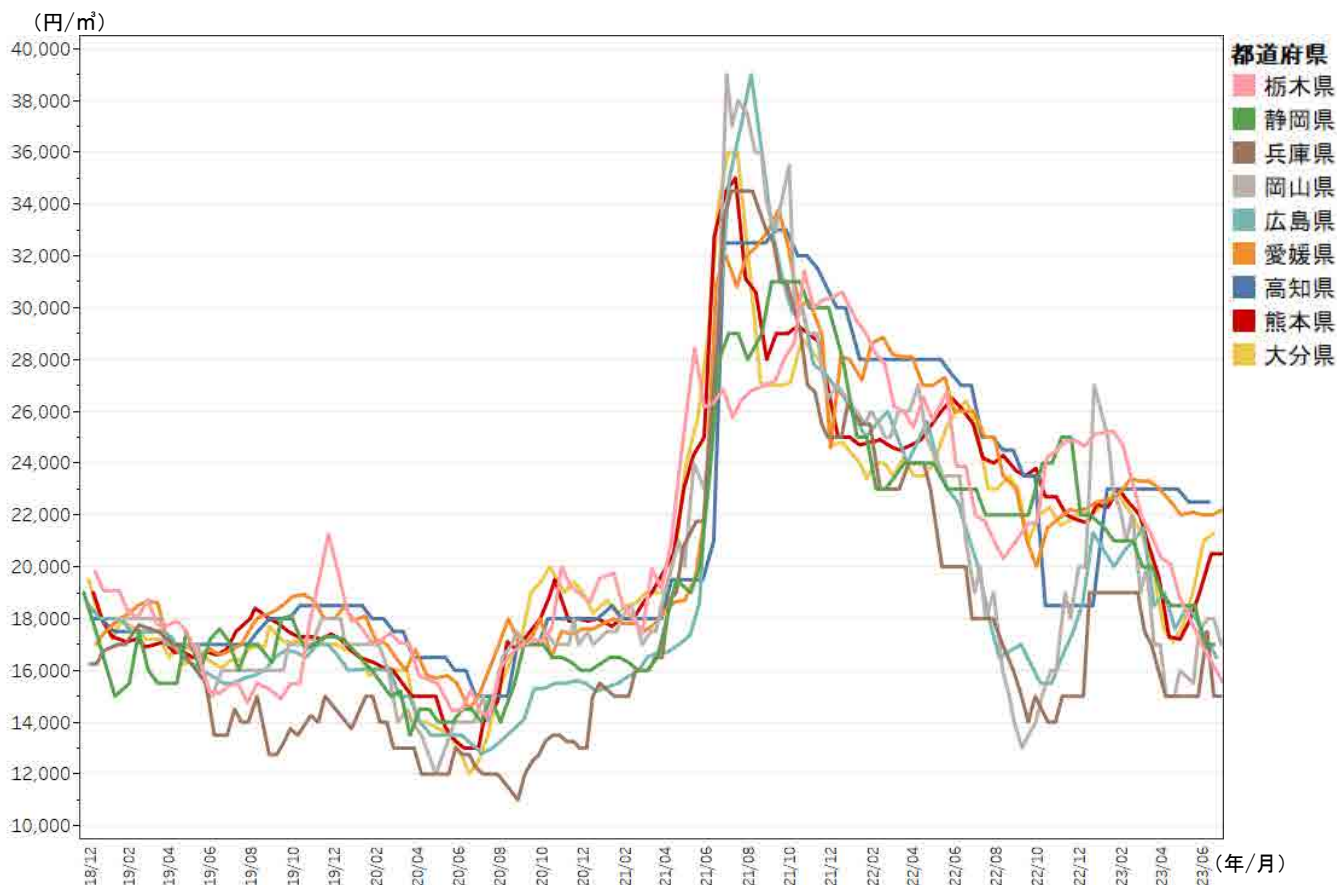
（単位：円/m³）

都道府県	2023年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	13,400	12,900	104%
秋田県	11,380	21,030	54%
栃木県	12,890	16,060	80%
長野県	11,000	15,000	73%
岡山県	10,000	13,000	77%
高知県	16,000	18,000	89%
熊本県	14,000	17,800	79%
宮崎県	12,000	15,800	76%

※北海道については5月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については6月の値を使用。

木材価格情報-1 ヒノキ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、15,000円～22,500円/m³となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/m³)

都道府県	2023年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	15,530	21,990	71%
静岡県	17,000	23,000	74%
兵庫県	15,000	18,000	83%
岡山県	17,000	19,000	89%
広島県	16,500	22,500	73%
愛媛県	22,200	26,000	85%
高知県	22,500	27,000	83%
熊本県	20,500	25,500	80%
大分県	21,300	26,400	81%

※各県6月の値を使用。

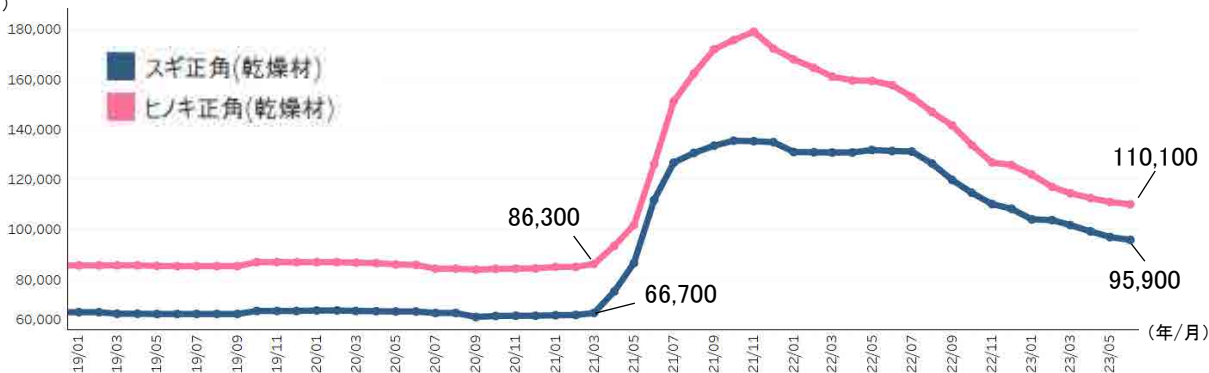
木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

- 主な製材品及び針葉樹合板の全国平均価格は、いわゆるウッドショック（2021年3月）以前と比較すると、高い水準で推移。
- 2023年6月の正角（乾燥材）の価格について、スギは95,900円/m³（前年同期比73%）、ヒノキは110,100円/m³（同70%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは91,000円/m³（前年同期比74%）、ホワイトウッドは92,600円/m³（同69%）。
- 同年6月の針葉樹合板の価格は、1,990円/枚（前年同月比87%）。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

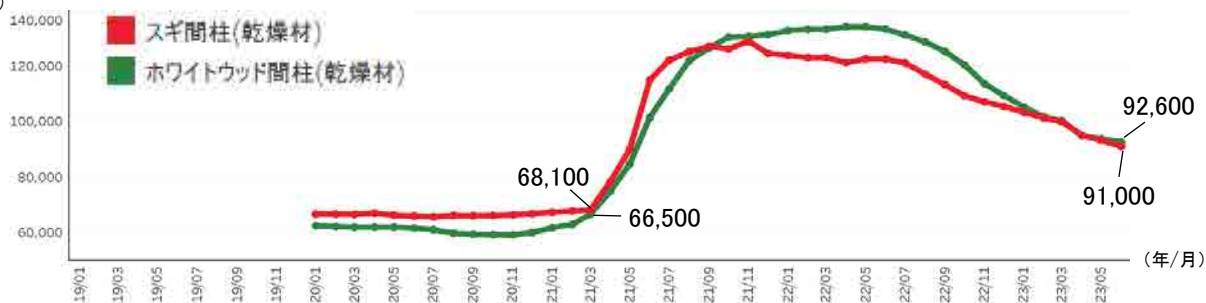
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級

(円/m³)



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等

(円/m³)



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類

(円/枚)



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

3 2023年は「木材価格」に拠る速報値、2022年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(2) 都道府県別価格

○スギ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	12,100	12,100	14,300	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
岩手	15,400	16,100	16,400	16,700	17,400	17,900	17,800	17,800	17,500	17,500	17,300	17,300
宮城	15,400	15,600	16,200	17,000	17,000	15,900	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
秋田	13,500	14,600	14,700	14,900	15,100	15,100	15,100	15,200	15,000	14,700	14,700	14,500
山形	17,100	17,200	17,200	18,100	18,400	18,400	19,400	19,400	19,300	19,200	19,200	20,500
福島	14,600	14,600	14,600	13,400	13,200	13,500	14,100	13,400	13,200	13,000	13,200	13,000
栃木	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	16,500
岐阜	16,600	16,600	16,600	17,700	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300
静岡	18,200	18,500	18,800	18,900	19,300	19,300	18,900	18,300	18,400	19,000	19,200	18,900
三重	17,100	17,300	17,400	18,100	18,600	18,200	17,400	16,600	15,900	16,000	15,900	16,400
奈良	16,800	16,800	16,800	17,900	17,900	17,900	17,400	16,900	16,900	15,800	14,300	14,800
岡山	13,800	13,800	13,800	13,800	15,300	15,300	14,300	14,000	14,000	14,000	14,000	14,300
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	16,700	16,700
愛媛	18,600	20,800	22,900	23,000	22,900	22,900	20,800	20,800	20,800	19,700	18,700	18,700
佐賀	17,000	17,000	17,600	17,600	17,600	17,600	17,100	17,100	17,100	17,100	17,000	17,000
熊本	19,400	21,400	21,400	19,000	21,300	21,700	21,400	21,600	22,200	25,800	21,900	21,400
大分	18,800	19,500	18,600	17,800	18,000	17,700	17,500	17,900	18,500	18,300	18,500	17,900
宮崎	17,200	17,800	18,000	17,700	17,700	17,700	17,500	16,800	16,900	17,900	19,000	18,000
鹿児島	18,800	18,300	18,300	18,300	18,800	18,700	18,700	18,500	17,600	18,300	18,800	18,800

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
青森	14,400	13,300	13,300	13,300	13,300	13,200
岩手	17,300	17,000	16,700	15,000	14,600	14,300
宮城	14,800	14,200	14,500	13,700	13,700	13,700
秋田	14,300	13,800	13,400	12,600	12,400	12,100
山形	20,500	20,500	20,300	20,400	18,800	18,600
福島	13,200	13,300	12,100	12,000	12,500	12,300
栃木	16,500	16,500	15,400	14,800	14,300	13,200
岐阜	18,300	18,300	17,000	18,500	16,900	16,600
静岡	18,600	18,300	18,200	17,900	17,200	16,500
三重	16,600	16,900	16,800	17,200	16,400	15,900
奈良	15,800	15,300	15,300	15,300	13,800	13,800
岡山	14,000	14,000	14,000	13,000	13,100	12,400
徳島	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700
愛媛	18,700	18,700	18,700	17,600	16,600	16,600
佐賀	16,500	16,500	16,700	16,100	15,400	14,800
熊本	20,800	20,800	20,800	19,100	18,100	17,600
大分	17,900	18,200	17,300	16,300	15,500	15,900
宮崎	17,900	17,800	16,500	15,500	14,600	14,000
鹿児島	18,800	18,800	18,700	17,300	15,000	14,300

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	35,500	34,900	34,400	32,800	32,800	30,600	27,400	25,100	21,500	21,400	22,900	23,000
茨城	29,400	28,300	28,000	28,000	27,800	26,800	24,500	21,900	21,000	21,200	21,800	22,300
栃木	31,100	31,000	30,000	29,700	29,700	28,700	28,700	26,400	26,400	26,500	26,500	25,500
岐阜	30,500	28,900	28,900	28,900	27,600	27,000	26,600	25,600	24,400	24,400	23,600	23,600
静岡	33,300	31,000	29,400	29,400	28,900	28,500	27,600	27,500	26,200	25,900	27,200	26,000
三重	25,600	26,900	27,000	27,200	26,200	24,500	22,800	22,300	22,000	21,500	22,500	22,600
兵庫	33,000	32,900	30,700	30,600	30,600	30,500	27,200	27,200	27,100	24,900	25,000	25,000
奈良	29,900	29,900	30,000	28,900	27,800	26,800	23,800	21,800	19,800	19,800	20,900	23,900
和歌山	25,900	25,900	25,900	25,900	25,500	25,500	23,700	22,900	22,900	22,200	22,200	21,900
岡山	22,300	22,000	26,200	27,900	24,900	24,400	23,900	22,500	16,500	17,000	21,300	21,700
広島	35,900	28,900	28,600	28,200	27,300	26,700	26,800	26,200	21,500	20,400	19,400	19,800
愛媛	30,100	29,000	28,200	27,200	28,100	28,200	27,700	24,900	22,000	21,300	19,900	19,900
高知	29,900	29,100	27,200	27,400	27,200	26,400	26,800	26,500	22,600	21,200	20,200	20,400
熊本	30,300	27,600	27,500	27,100	28,100	28,200	26,800	25,400	25,600	25,400	25,500	24,600
大分	27,300	25,100	23,400	19,800	17,600	15,400	19,000	18,700	18,700	18,700	18,400	17,500
宮崎	31,200	30,100	27,500	25,300	24,800	25,000	23,900	22,100	22,000	22,600	23,700	23,000

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
福島	25,600	25,500	23,400	21,300	20,700	19,700
茨城	23,300	23,500	22,400	21,200	20,200	19,400
栃木	25,700	25,700	24,400	23,200	20,900	18,800
岐阜	22,300	22,300	22,300	21,700	20,800	20,200
静岡	24,900	24,600	23,300	22,700	21,800	20,600
三重	23,500	23,600	23,200	21,400	19,600	19,800
兵庫	25,000	25,000	25,100	22,900	21,800	21,800
奈良	26,900	26,800	26,800	25,900	21,900	19,800
和歌山	22,000	21,900	21,800	20,500	20,100	20,100
岡山	25,900	25,100	24,500	23,800	20,700	22,000
広島	22,800	25,100	24,500	23,700	23,000	22,700
愛媛	20,000	20,200	20,700	20,600	20,300	20,000
高知	21,700	21,500	22,000	22,400	22,400	22,400
熊本	25,700	25,700	24,900	22,700	22,500	23,100
大分	18,400	17,900	18,000	18,200	16,900	17,000
宮崎	21,900	22,600	22,900	21,900	20,700	21,400

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0~28.0cm、長3.65~4.0m）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000	14,500	15,800	15,500	15,700	15,500	15,600	15,600	15,800
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500	31,500	32,000	32,200	30,500	30,500	30,100	28,200	25,700

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	15,500	15,400	15,400	15,300	15,300	15,300
岩手	25,700	25,700	25,600	25,500	25,400	25,300

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100	14,100	15,100	14,500	13,800	13,800	13,800	13,800	13,100
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900	17,800	17,800	18,100	17,800	17,100	16,900	16,200	16,200
島根	14,300	14,900	15,000	15,300	15,600	15,500	15,700	15,400	15,300	15,400	15,200	15,200

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
岩手	13,100	13,100	13,100	12,700	12,200	12,200
宮城	16,400	16,400	16,400	16,400	16,100	15,900
秋田	16,100	16,000	16,000	15,900	15,900	15,800
島根	15,000	15,100	15,100	15,000	14,800	14,700

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			88,000			88,000			77,300			77,300
東京			58,800			58,800			57,300			53,500
大阪			103,100			103,100			103,100			103,100
福岡			58,600			60,500			58,600			56,700

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉			77,000			66,500
東京			53,500			x
大阪			81,500			80,400
福岡			56,400			54,700

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500	125,500	124,400	123,700	112,200	109,800	96,100	95,700	95,400
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800	140,800	140,800	140,800	135,500	135,500	134,700	132,400	131,600
東京	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,800	148,800	132,800	132,400	126,800	121,000
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000	153,000	152,300	151,600	151,500	146,300	139,800	134,000	134,000
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800	120,100	120,100	120,100	117,300	114,400	110,500	109,700	108,300
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500	122,300	121,700	121,700	111,900	111,900	110,000	105,200	105,200
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900	146,000	143,700	143,700	134,300	131,200	128,000	122,600	119,400
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400	120,400	120,300	120,300	117,600	113,800	110,100	102,800	102,800

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
埼玉	94,400	94,400	93,300	92,000	86,300	85,300
千葉	130,800	120,200	120,200	107,800	107,800	107,800
東京	109,800	109,800	109,800	109,400	109,400	109,100
神奈川	128,700	128,300	128,200	118,600	109,400	104,200
愛知	106,900	105,700	104,300	98,500	98,400	95,700
大阪	99,700	99,000	93,600	93,600	93,600	93,600
兵庫	111,600	111,600	111,600	102,200	98,200	98,100
福岡	102,800	102,800	98,300	94,500	92,600	90,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年 単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			98,200			98,100			92,000			91,000
東京			x			x			x			x
愛知			94,800			94,800			93,500			93,500
大阪			119,700			112,100			107,900			100,300
兵庫			116,300			114,300			106,300			95,500
福岡			82,500			86,600			84,200			82,500

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉			81,100			78,900
東京			x			x
愛知			93,500			92,200
大阪			78,500			79,600
兵庫			95,500			90,000
福岡			82,500			75,100

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年 単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	145,600	142,500	142,500	142,500	142,500	141,800	139,800	128,600	122,800	110,100	109,700	109,700
千葉	171,400	169,100	169,100	164,800	164,800	164,800	164,800	158,100	158,100	156,100	150,200	150,200
東京	175,500	175,400	175,400	175,500	175,500	175,500	175,200	175,200	164,600	164,200	153,400	153,400
神奈川	187,400	185,300	185,300	185,300	185,300	181,900	178,600	173,300	167,300	151,900	146,500	145,600
愛知	159,400	159,400	151,900	149,700	149,700	149,700	137,000	131,600	130,700	124,600	117,000	115,100
大阪	176,400	169,900	163,600	162,600	161,700	159,800	154,400	152,600	147,000	137,800	130,600	130,600
兵庫	184,800	178,400	173,900	168,100	168,100	161,200	156,600	143,000	138,400	131,500	117,900	113,300

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
埼玉	108,400	108,400	107,200	106,200	101,900	100,900
千葉	150,200	146,800	146,800	x	x	x
東京	153,200	142,700	142,400	142,000	142,000	142,000
神奈川	138,900	133,700	133,600	131,800	131,500	129,300
愛知	114,900	109,800	107,200	105,600	105,400	102,900
大阪	118,900	110,700	104,400	104,400	104,400	104,400
兵庫	112,600	112,600	112,000	107,400	102,900	101,600

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2022年 単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道			135,700			138,000			138,000			138,000
埼玉			144,700			148,800			151,900			147,200
千葉			139,800			142,400			142,400			140,700
東京			154,400			154,400			154,400			154,000
神奈川			142,200			143,100			143,100			140,800
愛知			158,300			158,300			145,500			143,000
大阪			121,000			132,000			132,000			132,000
兵庫			138,500			141,800			141,800			145,000

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道			139,800			128,200
埼玉			141,400			129,900
千葉			131,200			116,300
東京			148,100			147,500
神奈川			138,300			135,500
愛知			132,000			138,100
大阪			132,000			132,000
兵庫			138,300			131,700

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2022年 単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	115,400	113,300	113,300	116,600	120,600	120,100	116,900	111,200	103,800	99,500	96,100	96,100
千葉	120,300	120,300	120,300	120,200	120,200	120,200	120,200	115,200	110,300	107,500	103,600	102,800
東京	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	122,200	122,200	120,900	115,400	107,500	104,800
神奈川	134,400	132,900	132,900	132,900	132,900	131,800	131,300	128,900	122,200	117,500	116,100	114,900
愛知	121,800	119,300	119,300	119,300	120,500	120,500	120,500	113,700	110,300	106,900	106,500	102,400
大阪	112,200	112,200	112,200	112,200	121,000	118,800	118,800	110,000	110,000	110,000	105,600	101,200
兵庫	137,000	137,000	137,000	137,200	142,400	142,400	137,200	131,900	126,600	121,200	121,100	115,700
広島	167,200	167,200	167,200	141,900	138,100	140,800	140,800	140,800	138,500	127,300	127,300	125,300
福岡	107,100	107,100	107,100	107,100	106,900	106,900	106,900	105,900	105,900	104,900	104,900	104,900

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
埼玉	95,000	92,900	92,200	87,100	86,200	85,900
千葉	102,400	98,700	96,200	85,500	82,100	77,900
東京	96,800	96,700	96,500	89,400	89,400	83,200
神奈川	111,200	107,900	106,700	106,100	106,100	102,700
愛知	97,700	93,700	93,700	99,500	99,500	95,500
大阪	95,700	95,700	94,600	94,600	93,500	93,500
兵庫	110,500	110,500	105,200	99,600	99,600	99,500
広島	124,700	121,500	121,000	120,400	113,500	109,200
福岡	104,500	104,500	103,700	95,800	95,100	94,900

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2022年 単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	111,300	111,300	111,300	121,000	122,400	122,400	119,000	114,700	111,500	107,800	99,900	95,200
千葉	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	145,600	143,800	134,800	134,600	127,700
東京	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	144,400	131,300	130,000	122,900
神奈川	139,200	137,800	137,800	137,800	138,500	139,000	136,700	136,000	133,000	125,300	121,700	121,700
愛知	126,900	128,100	128,100	127,900	127,900	127,200	126,900	126,500	122,200	115,200	106,700	101,200
大阪	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	126,900	121,600	115,500	110,600	110,000	104,500	99,000
兵庫	140,400	143,200	143,200	143,200	143,200	143,200	140,400	137,500	134,600	134,600	115,700	112,900
広島	126,300	126,300	126,300	125,600	121,500	125,600	125,400	124,300	122,400	122,400	119,700	117,600

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
埼玉	94,700	93,200	91,600	87,600	84,200	84,100
千葉	125,000	122,600	121,700	100,500	100,200	99,900
東京	121,200	120,000	119,100	118,200	117,400	111,500
神奈川	118,700	113,200	110,600	109,900	109,900	107,600
愛知	97,400	91,000	90,300	89,300	86,700	85,300
大阪	93,500	93,100	92,900	87,700	87,600	87,700
兵庫	104,500	101,600	98,800	90,600	90,600	88,000
広島	112,300	105,400	102,800	102,800	100,500	99,400

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2022年 単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋田	x	4,700	4,400	4,400	4,300	4,200	4,000	4,000	4,000	3,800	3,600	3,700
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300	4,400	4,400	4,400	4,200	4,200	4,000	4,000

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
秋田	3,500	3,400	2,900	2,800	2,700	2,500
宮崎	3,500	3,500	3,100	2,700	2,600	2,600

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2022年 単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	4,900	4,700	4,500	4,400	4,200	4,000

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
岡山	3,600	3,400	3,100	2,900	2,900	2,900

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2022年 単位：円/枚

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉			2,220			2,420			2,390			2,350
東京			2,140			2,420			2,410			2,410
大阪			1,840			1,990			2,220			2,130

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
埼玉			2,240			2,100
東京			2,300			1,990
大阪			2,040			1,920

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった

（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○チップ用丸太（針葉樹）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100	7,100	7,300	7,200	7,300	7,300	7,300	7,400	7,400
青森	6,500	6,500	6,500	6,800	6,800	6,800	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100	6,200	6,200	6,100	6,100	5,900	6,600	6,300	6,400	5,700
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100	6,900	7,200	7,300	7,700	7,800	7,400	7,400	7,500
長野	6,800	6,700	6,700	6,700	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	7,200
京都	8,600	8,600	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
島根	9,700	9,200	9,200	9,700	9,600	9,700	10,100	10,100	10,200	9,600	9,800	9,800
広島	5,000	5,000	5,000	5,600	6,000	6,300	6,400	6,500	6,400	6,300	5,900	6,100
高知	5,400	5,600	5,500	5,700	5,800	5,400	5,700	5,600	5,600	5,900	6,000	5,600
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000	7,000	7,800	7,000	6,800	7,100	7,400	7,600	7,400
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,900	7,900	8,000	8,000
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	7,400	7,400	7,400	7,500	7,500	7,500
青森	7,000	7,000	7,000	7,600	7,600	7,600
岩手	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
宮城	6,000	6,000	6,000	6,200	6,200	6,200
秋田	7,000	7,000	7,000	7,300	7,300	7,300
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,800	6,100	5,900	6,100	5,900	6,000
栃木	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300
山梨	7,700	8,800	8,800	8,400	8,400	8,400
長野	7,200	7,200	7,300	7,200	7,200	7,400
京都	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
島根	9,400	8,500	9,500	9,300	9,800	9,900
広島	6,100	5,900	5,700	5,900	6,700	6,700
高知	5,600	5,600	5,600	5,800	5,800	5,700
熊本	8,200	9,100	8,400	10,700	8,800	10,000
宮崎	8,000	8,000	8,100	8,100	8,100	8,000
鹿児島	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200

○チップ用丸太（広葉樹）

・2022年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700	9,700	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
青森	11,600	11,600	11,600	11,900	11,900	11,900	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,400
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000	12,000	12,400	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900	8,900	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	9,000	9,400	9,400
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500	6,800	6,800	7,000	7,500	7,500	7,500	7,400	7,400
島根	10,500	10,300	10,400	10,600	10,600	10,500	10,700	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800
広島	6,000	6,100	6,100	6,100	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,100	6,000	6,000
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800	9,100	9,000	8,800	8,900	9,100	8,900	9,100	8,900
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100	8,500	8,500	8,300	8,300	8,300	8,300	8,400	8,400
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	10,100
青森	12,100	12,100	12,100	11,900	11,800	11,800
岩手	11,400	11,400	11,400	10,600	10,800	10,800
宮城	9,000	9,000	9,000	9,300	9,300	9,300
秋田	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	9,000	9,600	9,000	9,000	8,700
山梨	7,500	7,500	7,500	7,800	7,900	7,900
島根	10,700	10,700	10,800	10,800	11,100	11,200
広島	6,000	6,000	6,100	6,700	6,700	6,700
熊本	8,700	9,000	8,900	9,100	9,200	9,400
宮崎	8,400	8,700	8,600	8,200	8,900	9,100
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○木材チップ（針葉樹）

・2022年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,200	15,400	15,400
青森	15,600	15,600	15,600	16,200	16,300	16,300	16,700	16,700	16,700	17,000	17,200	17,200
岩手	15,800	15,800	15,800	15,900	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	17,100	17,100
宮城	18,600	18,600	18,600	18,800	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,800	19,800
秋田	15,900	16,400	16,400	16,500	16,700	16,800	16,800	16,800	16,300	16,500	16,700	16,700
福島	18,100	18,100	18,100	18,100	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	19,300	21,200
茨城	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	18,000	18,000
京都	19,200	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,900	19,900	19,900	21,900	21,900	22,000
兵庫	17,100	17,100	17,100	18,700	18,800	18,800	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
岡山	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600
広島	15,300	15,300	15,600	15,600	15,600	15,800	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,000
徳島	20,900	20,900	20,900	20,900	21,300	21,300	21,300	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,200	19,500	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	20,900
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,200	18,300	18,600
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	12,500	12,500	12,500
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	15,400	15,400	15,400	16,000	16,100	16,200
青森	17,700	17,700	17,700	19,000	19,000	19,000
岩手	17,100	17,100	17,100	18,000	18,100	18,100
宮城	19,800	19,800	20,000	20,300	20,600	20,600
秋田	16,800	16,900	16,900	17,300	17,600	17,600
福島	21,200	21,200	21,200	21,400	21,400	21,400
茨城	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
栃木	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,500	18,600
静岡	18,000	18,000	18,000	18,100	18,700	18,700
京都	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
兵庫	19,300	19,300	22,200	22,300	22,300	22,300
岡山	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600
広島	16,000	16,000	16,000	19,000	18,900	18,900
徳島	21,600	21,600	21,600	21,600	22,800	22,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	13,300	13,500	13,500
高知	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900
熊本	18,600	18,600	18,600	19,500	19,700	19,700
大分	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,900	11,900
鹿児島	13,000	13,000	13,000	17,900	17,000	17,000

○木材チップ（広葉樹）

・2022年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,700	20,700	20,700	20,800	20,800	20,800	20,900	21,100	21,200
青森	18,500	18,500	18,500	18,800	18,800	18,800	19,100	19,100	19,100	19,300	19,500	19,500
岩手	18,600	18,600	18,600	18,700	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,600	19,700
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	20,500	20,500
秋田	20,300	20,300	20,300	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
福島	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,800	21,400
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600	15,600	15,900	15,900	16,000	17,400	17,400	17,400	17,400	17,400
島根	20,800	20,800	20,800	21,700	22,400	22,400	22,400	22,400	22,600	22,600	22,600	22,600
広島	19,700	19,800	19,800	19,700	19,700	19,700	19,700	19,800	19,800	19,800	19,900	20,300
熊本	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	22,800
宮崎	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500	20,500	20,500	20,900	20,300
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	21,200	21,200	21,200	21,700	21,700	21,700
青森	19,800	19,800	19,800	20,100	20,100	20,100
岩手	19,700	19,700	19,700	19,700	19,600	19,600
宮城	20,500	20,500	20,900	21,300	21,500	21,500
秋田	22,000	22,200	22,200	22,300	22,300	22,300
福島	21,400	21,400	21,400	21,700	21,700	21,700
栃木	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
山梨	17,400	17,400	17,400	18,000	18,000	18,300
島根	22,600	22,600	22,600	23,100	25,500	25,500
広島	20,300	20,300	20,100	22,400	22,400	22,400
熊本	22,800	22,800	22,800	24,500	24,500	24,500
宮崎	21,000	21,000	21,200	21,200	21,300	21,300
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

木材需給情報-1 木材需要の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総需要量は、82,130千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,742千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内消費量は、78,879千 m^3 （対前年比110.4%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、パルプ・チップ用材の+2,629千 m^3 （同110.6%）、燃料材の+1,938千 m^3 （同115.1%）である。
- 輸出量は、3,251千 m^3 （対前年比108.0%）となった。この中で、前年に比べて増加したものは、丸太（用材）の+75千 m^3 （同105.4%）、製材品等の+60千 m^3 （同121.8%）、合板等の+58千 m^3 （同132.4%）、木材パルプ・チップ等の+50千 m^3 （同104.3%）である。

木 材 需 要 の 動 向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)		
総 需 要 量	用 材	製 材 用 材	26,179	31.9	24,597	33.0	1,582	106.4
		合 板 用 材	10,294	12.5	8,919	12.0	1,375	115.4
		ハ°ル°フ°・チ°ッ°フ°用材	28,743	35.0	26,064	35.0	2,679	110.3
		そ の 他 用 材	1,926	2.3	1,812	2.4	114	106.3
		小 計	67,142	81.8	61,392	82.5	5,750	109.4
	し い た け 原 木	246	0.3	242	0.3	4	101.7	
	燃 料 材	14,742	17.9	12,805	17.2	1,937	115.1	
計			82,130	100.0	74,439	100.0	7,691	110.3
国 内 消 費	用 材	製 材 用 材	25,844	32.8	24,321	34.0	1,523	106.3
		合 板 用 材	10,056	12.7	8,741	12.2	1,315	115.0
		ハ°ル°フ°・チ°ッ°フ°用材	27,529	34.9	24,900	34.9	2,629	110.6
		そ の 他 用 材	466	0.6	426	0.6	40	109.4
		小 計	63,895	81.0	58,387	81.7	5,508	109.4
	し い た け 原 木	246	0.3	242	0.3	4	101.7	
	燃 料 材	14,738	18.7	12,800	17.9	1,938	115.1	
計			78,879	100.0	71,430	100.0	7,449	110.4
輸 出	用 材	丸 太	1,459	44.9	1,384	46.0	75	105.4
		製 材 品 等	335	10.3	275	9.2	60	121.8
		合 板 等	237	7.3	179	5.9	58	132.4
		木 材 ハ°ル°フ°・チ°ッ°フ°等	1,214	37.3	1,164	38.7	50	104.3
		そ の 他	2	0.1	3	0.1	△ 1	66.7
	小 計	3,247	99.9	3,005	99.8	242	108.1	
燃 料 材	4	0.1	5	0.2	△ 1	80.0		
計			3,251	100.0	3,009	100.0	242	108.0

資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

注：1）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2）輸出の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

3）輸出の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

4）輸出の木材パルプ・チップ等は、木材パルプ、木材チップ、再生木材である。

5）輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

6）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材供給の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総供給量は、82,130千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,742千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内生産量は、33,721千 m^3 （対前年比108.3%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、丸太（用材）の+2,092千 m^3 （同109.6%）である。
- 輸入量は、48,409千 m^3 （対前年比111.8%）となった。この中で、前年に比べ増加量が大きかったものは、木材チップ等の+2,538千 m^3 （同115.2%）、燃料材の+1,516千 m^3 （同139.1%）である。一方で、製材品等は Δ 218千 m^3 （同97.8%）、木材パルプは Δ 198千 m^3 （同96.0%）と減少した。

木材供給の動向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)	
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)			
総供給量	用材	丸太	27,845	33.9	25,180	33.8	2,665	110.6	
		林地残材	161	0.2	106	0.1	55	151.9	
		輸入木材製品	39,136	47.7	36,106	48.5	3,030	108.4	
		小計	67,142	81.8	61,392	82.5	5,750	109.4	
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7		
	燃料材	14,742	17.9	12,805	17.2	1,937	115.1		
	計	82,130	100.0	74,439	100.0	7,691	110.3		
国内生産	用材	丸太	23,966	71.1	21,874	70.2	2,092	109.6	
		林地残材	161	0.5	106	0.3	55	151.9	
		小計	24,127	71.5	21,980	70.6	2,147	109.8	
	しいたけ原木	246	0.7	242	0.8	4	101.7		
	燃料材	9,348	27.7	8,927	28.7	421	104.7		
計	33,721	100.0	31,149	100.0	2,572	108.3			
輸入	用材	丸太	3,879	8.0	3,306	7.6	573	117.3	
		製材品等	製材品等	9,903	20.5	10,121	23.4	Δ 218	97.8
			合板等	5,201	10.7	4,293	9.9	908	121.2
			木材パルプ	4,799	9.9	4,997	11.5	Δ 198	96.0
			木材チップ等	19,184	39.6	16,646	38.5	2,538	115.2
			その他	49	0.1	49	0.1	0	100.0
	細計	39,136	80.8	36,106	83.4	3,030	108.4		
	小計	43,015	88.9	39,412	91.0	3,603	109.1		
燃料材	5,394	11.1	3,878	9.0	1,516	139.1			
計	48,409	100.0	43,290	100.0	5,119	111.8			

資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

4）輸入の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

5）輸入の木材チップ等は、木材チップ、再生木材である。

6）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

7）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材自給率の動向（2021年木材需給表）

- 建築用材等の自給率は、製材用材の国内生産が大きく増加したこと等により、対前年比で0.8ポイント上昇し、48.0%となった。
- 非建築用材等の自給率は、パルプ・チップ用材及び燃料材の輸入が大きく増加したこと等により、対前年比で2.0ポイント低下し、35.5%となった。
- これらを合わせた総数での自給率は、対前年比で0.7ポイント低下し、41.1%となった。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量 ÷ 総需要量（※） × 100
 ※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

木材自給率の動向

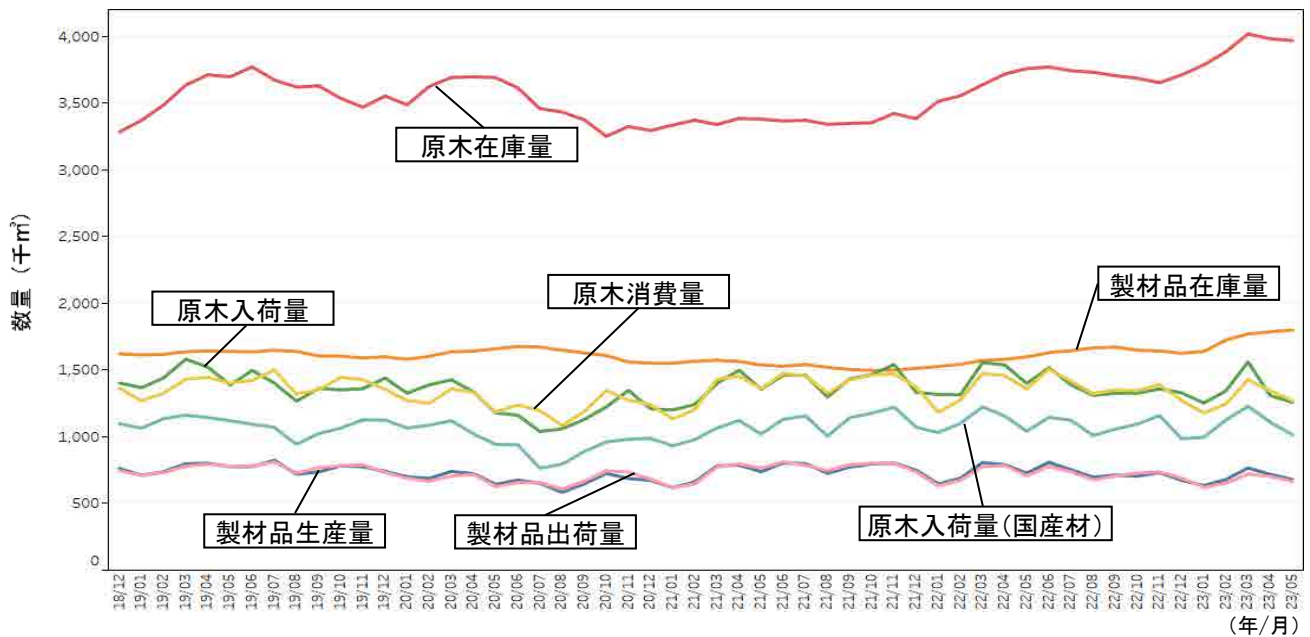
区 分		2021年	2020年	対前年 増減量 (千m ³)	対前年比 (%)		
		数量 (千m ³)	数量 (千m ³)				
建築用材等	国内生産	17,522	15,810	1,712	110.8		
	輸入	18,951	17,706	1,245	107.0		
	総需要量	36,473	33,516	2,957	108.8		
	自給率	48.0%	47.2%	0.8ポイント			
用材	製材用材	国内生産	12,861	11,615	1,246	110.7	
		輸入	13,318	12,982	336	102.6	
		総需要量	26,179	24,597	1,582	106.4	
	合板用材	国内生産	4,661	4,195	466	111.1	
		輸入	5,633	4,724	909	119.2	
		総需要量	10,294	8,919	1,375	115.4	
自給率	45.3%	47.0%	△ 1.7ポイント				
非建築用材等	国内生産	16,199	15,339	860	105.6		
	輸入	29,458	25,584	3,874	115.1		
	総需要量	45,658	40,923	4,735	111.6		
	自給率	35.5%	37.5%	△ 2.0ポイント			
	用材	パルプ・チップ用材	国内生産	4,744	4,420	324	107.3
			輸入	24,000	21,644	2,356	110.9
		総需要量	28,743	26,064	2,679	110.3	
	自給率	16.5%	17.0%	△ 0.5ポイント			
	その他用材	国内生産	1,862	1,750	112	106.4	
		輸入	65	62	3	104.8	
総需要量	1,926	1,812	114	106.3			
自給率	96.6%	96.6%	0.0ポイント				
しいたけ原木	国内生産	246	242	4	101.7		
	輸入	-	-	-	-		
	総需要量	246	242	4	101.7		
自給率	100.0%	100.0%	0.0ポイント				
燃料材	国内生産	9,348	8,927	421	104.7		
	輸入	5,394	3,878	1,516	139.1		
	総需要量	14,742	12,805	1,937	115.1		
	自給率	63.4%	69.7%	△ 6.3ポイント			
総 数	国内生産	33,721	31,149	2,572	108.3		
	輸入	48,409	43,290	5,119	111.8		
	総需要量	82,130	74,439	7,691	110.3		
	自給率	41.1%	41.8%	△ 0.7ポイント			
うち 用材の計	国内生産	24,127	21,980	2,147	109.8		
	輸入	43,015	39,412	3,603	109.1		
	総需要量	67,142	61,392	5,750	109.4		
	自給率	35.9%	35.8%	0.1ポイント			

資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

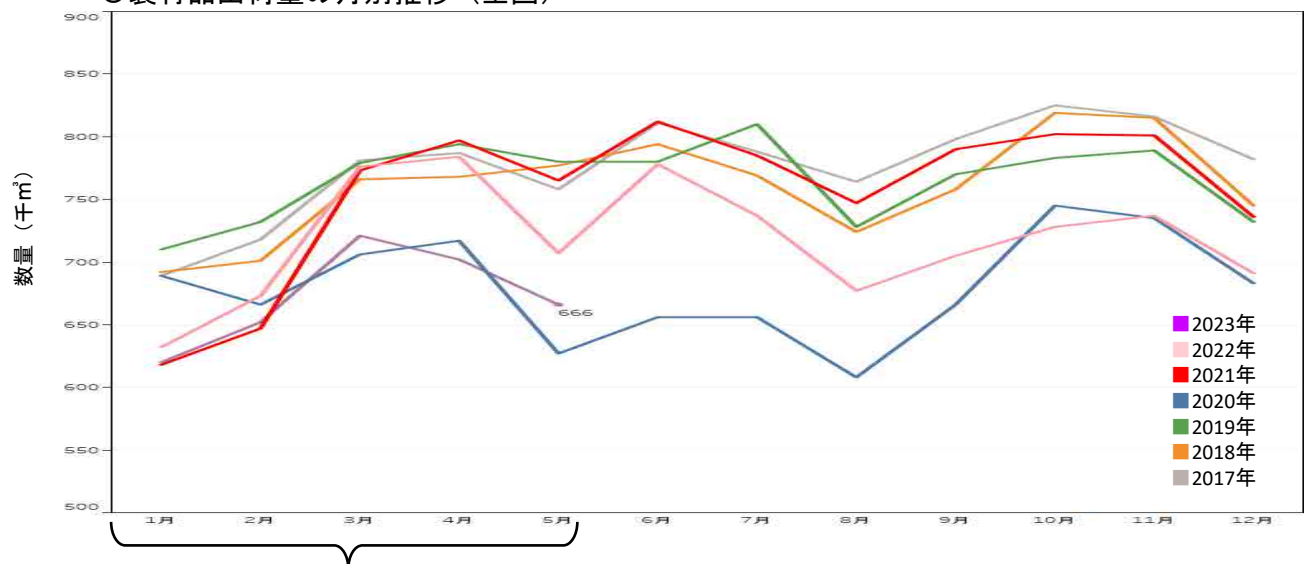
注）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2023年1～5月の原木の入荷量は、6,722千m³（2019年比 92%）。
- 同様に製材品の出荷量は、3,361千m³（2019年比 89%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）



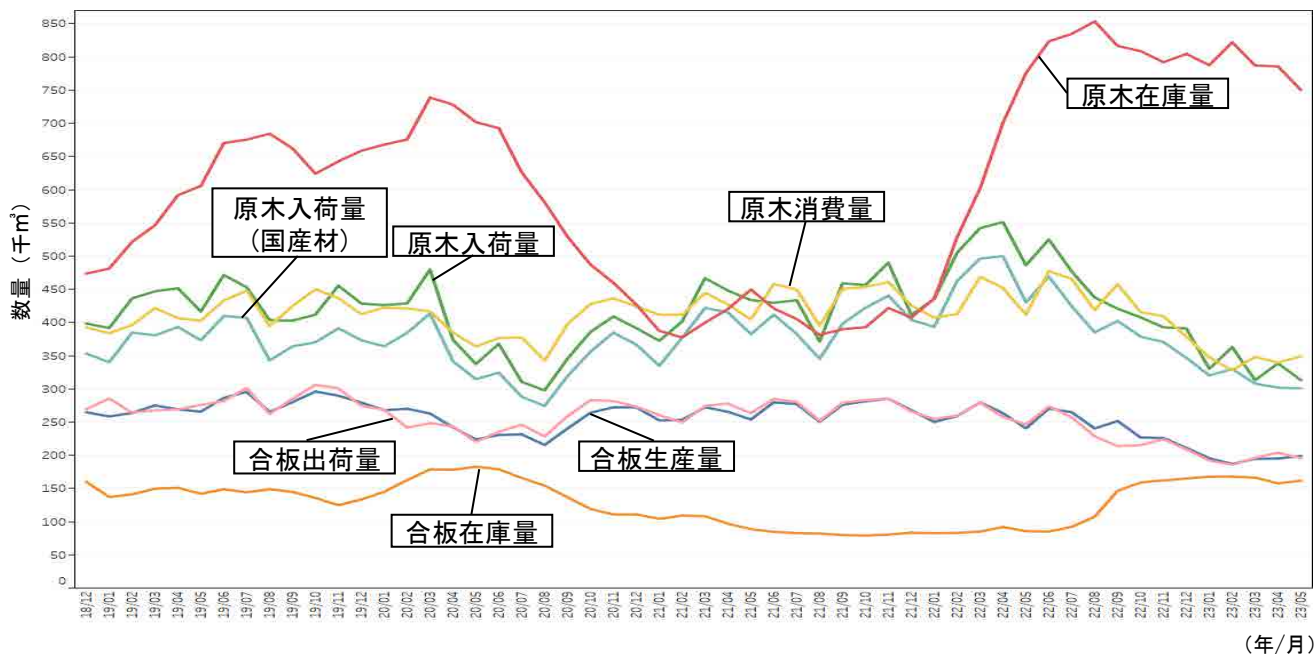
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～5月原木入荷量 合計(千m ³)	6,987	6,977	7,298	6,656	6,694	7,122	6,722
2019年との比較※	96%	96%	—	91%	92%	98%	92%
1～5月出荷量 合計(千m ³)	3,733	3,704	3,795	3,405	3,600	3,572	3,361
2019年との比較※	98%	98%	—	90%	95%	94%	89%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

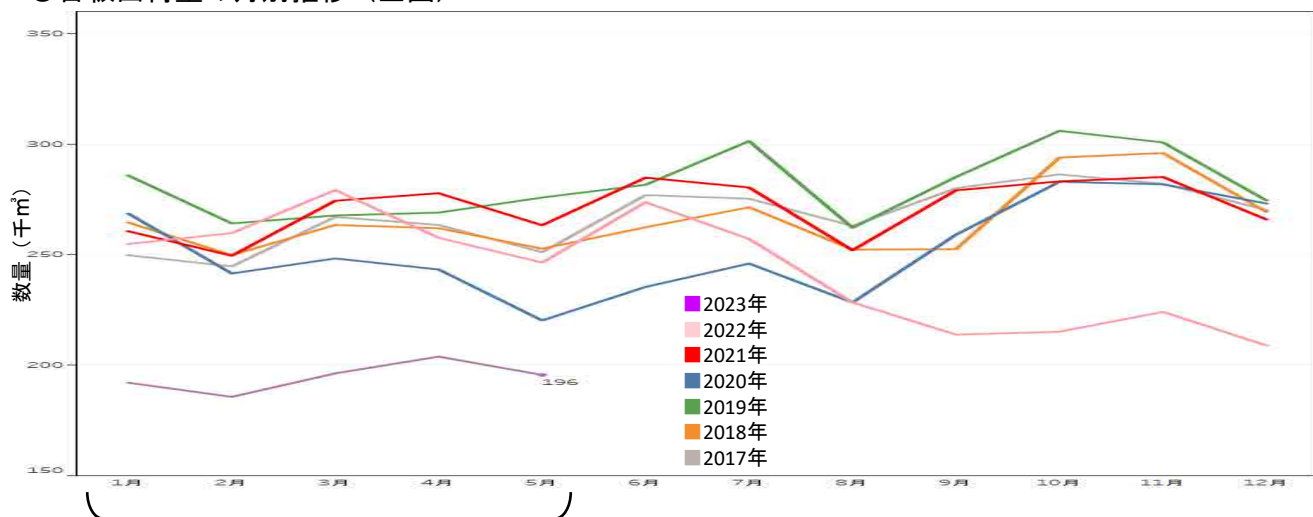
資料：農林水産省「製材統計」

木材需給情報-3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2023年1～5月の原木の入荷量は、1,658千m³（2019年比 77%）。
- 同様に合板の出荷量は、973千m³（2019年比 71%）。



○合板出荷量の月別推移（全国）

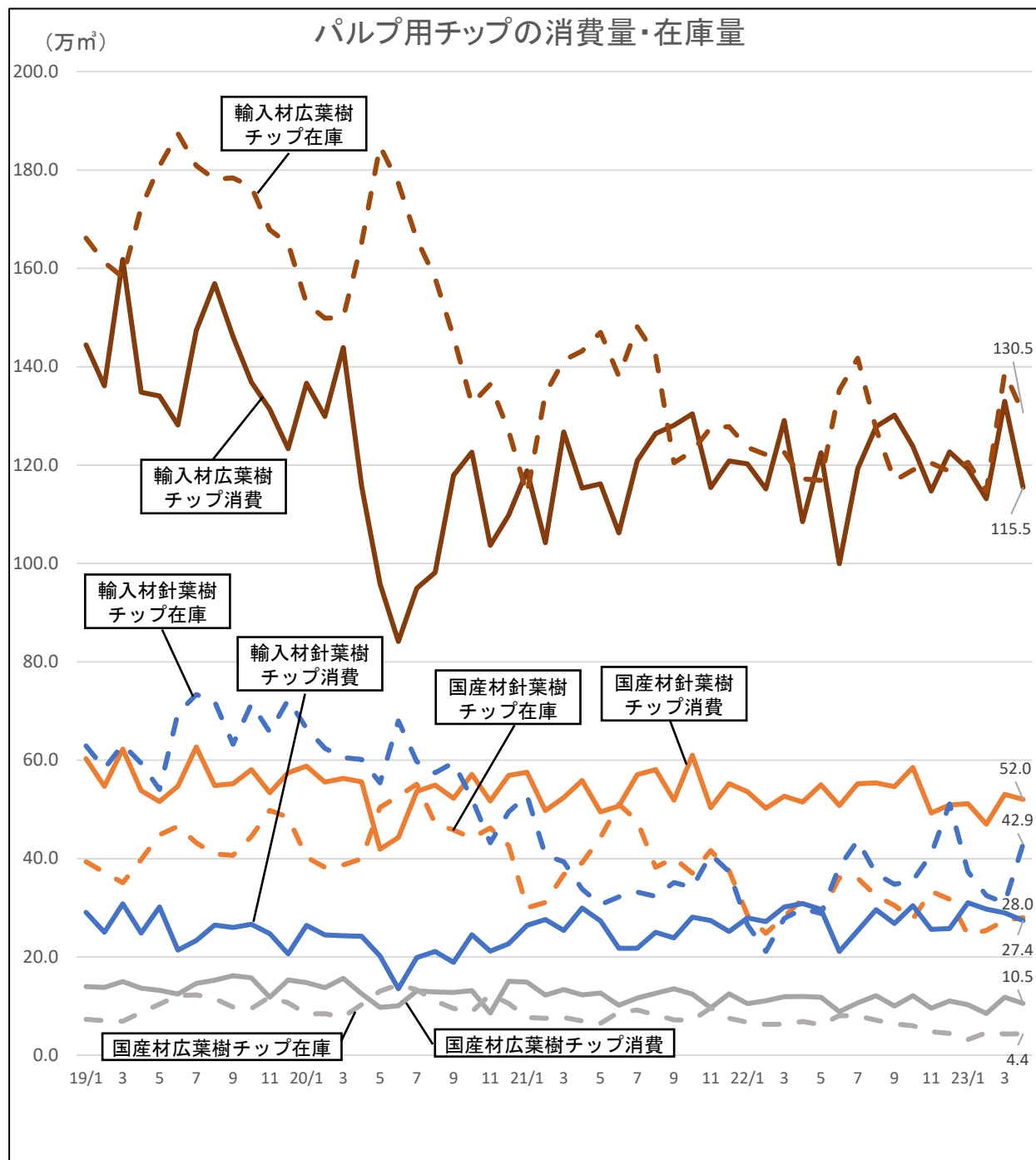


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～5月原木入荷量 合計(千m ³)	1,840	2,089	2,143	2,046	2,122	2,520	1,658
2019年との比較※	86%	97%	—	95%	99%	118%	77%
1～5月出荷量 合計(千m ³)	1,276	1,292	1,362	1,222	1,325	1,298	973
2019年との比較※	94%	95%	—	90%	97%	95%	71%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「合板統計」

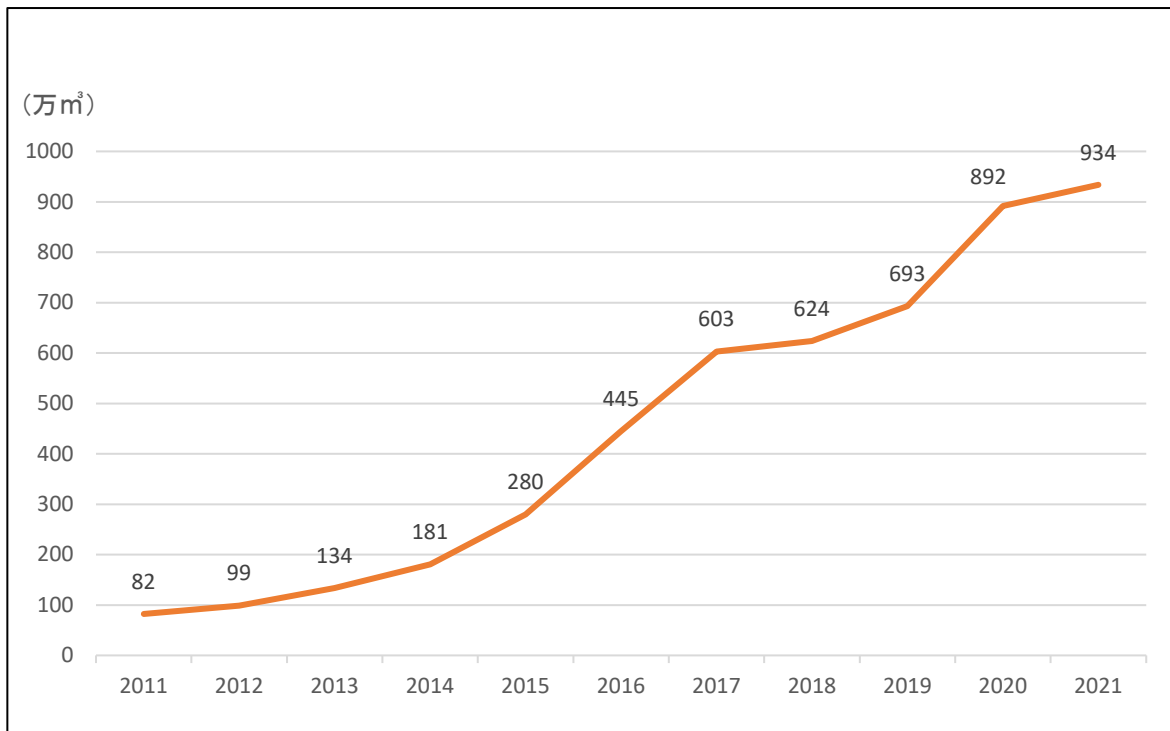
- パルプ用チップの消費について、2023年4月の輸入材広葉樹チップの消費量は115.5万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は52.0万 m^3 となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約11倍)。
- 2023年5月の紙の生産高は90万トン。板紙の生産高は95万トンとなっている。

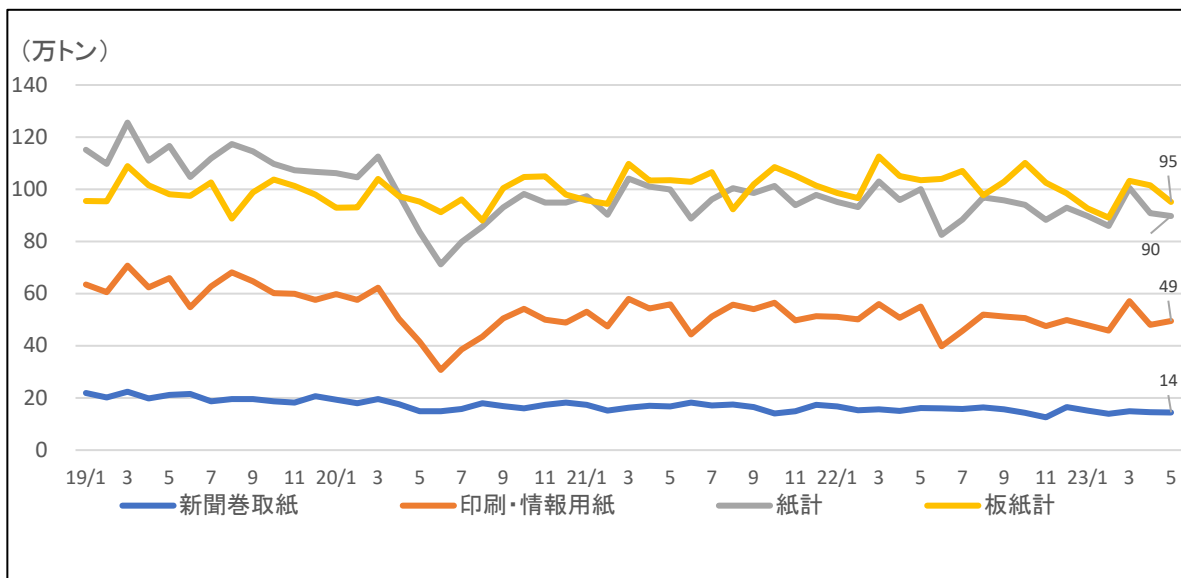
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

木材需給情報-6 素材生産量（2022年）

- 2022年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量の合計は2,208万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	22,082	12,937	4,912	4,233	20,386	13,238	1,696
北 海 道	3,335	1,707	706	922	2,774	75	561
青 森	979	361	386	232	942	827	37
岩 手	1,461	470	615	376	1,278	788	183
宮 城	685	218	302	165	637	595	48
秋 田	1,223	524	524	175	1,160	1,112	63
山 形	364	255	68	41	349	339	15
福 島	950	539	81	330	820	668	130
茨 城	455	387	8	60	421	330	34
栃 木	577	463	10	104	523	407	54
群 馬	213	149	27	37	196	145	17
埼 玉	x	30	x	x	42	29	x
千 葉	91	25	8	58	65	48	26
東 京	49	x	x	19	x	30	x
神 奈 川	8	8	0	-	8	5	0
新 潟	156	101	38	17	153	153	3
富 山	70	34	20	16	66	60	4
石 川	113	51	43	19	103	93	10
福 井	139	61	39	39	135	121	4
山 梨	141	19	69	53	122	29	19
長 野	467	189	231	47	461	99	6
岐 阜	391	258	69	64	381	221	10
静 岡	332	191	119	22	330	156	2
愛 知	157	100	x	x	151	82	6
三 重	327	191	76	60	319	190	8
滋 賀	65	14	15	36	53	34	12
京 都	171	46	37	88	149	103	22
大 阪	22	8	-	14	19	11	3
兵 庫	378	91	144	143	364	249	14
奈 良	121	94	9	18	119	70	2
和 歌 山	188	145	29	14	188	124	-
鳥 取	186	65	50	71	163	128	23
島 根	339	102	x	x	296	205	43
岡 山	406	333	28	45	382	131	24
広 島	331	121	76	134	235	122	96
山 口	246	125	x	x	224	151	22
徳 島	307	161	x	x	299	242	8
香 川	24	5	-	19	19	4	5
愛 媛	563	510	x	x	561	343	2
高 知	592	436	x	x	588	255	4
福 岡	186	155	9	22	179	129	7
佐 賀	148	116	6	26	138	83	10
長 崎	129	75	x	x	109	55	20
熊 本	957	744	125	88	935	720	22
大 分	1,198	889	288	21	1,194	1,018	4
宮 崎	2,031	1,869	96	66	2,011	1,878	20
鹿 児 島	743	483	145	115	679	581	64
沖 縄	x	x	-	x	x	-	x

資料：農林水産省「令和4年木材統計」（2023年6月30日公表）

- 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値（全国）と内訳（都道府県別）の計が一致しない場合がある。
- 「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの
- 「0」：単位に満たないもの（例：0.4千m³ → 0千m³）、「-」：事実のないもの

木材需給情報-7 木材生産の産出額（2021年）

- 2021年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は2,666億円。

単位：1,000万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	3,145	2,652	42	-	1	2,573	493	-
青森	863	811	684	0	39	52	51	-
岩手	1,498	1,264	728	4	165	365	215	-
宮城	534	507	465	6	21	14	25	2
秋田	1,176	1,089	1,075	0	3	12	85	-
山形	317	312	298	0	2	13	5	-
福島	853	765	484	211	29	37	86	-
茨城	547	528	283	242	2	0	19	-
栃木	851	774	453	306	6	3	70	2
群馬	283	271	186	51	3	29	11	-
埼玉	67	49	24	24	0	1	17	-
千葉	43	30	22	7	-	-	11	3
東京	41	36	20	11	-	1	5	-
神奈川	13	13	6	6	-	-	1	-
新潟	140	133	132	0	0	1	6	0
富山	118	104	92	11	0	1	14	-
石川	135	126	101	11	3	0	9	0
福井	116	114	108	5	1	0	2	0
山梨	120	99	28	17	11	34	10	-
長野	648	623	101	107	36	376	9	-
岐阜	593	586	284	281	2	11	7	0
静岡	638	638	189	400	1	2	0	-
愛知	171	163	75	74	0	11	9	-
三重	445	443	158	282	3	-	1	-
滋賀	57	42	27	11	0	0	14	1
京都	162	140	90	48	0	-	17	5
大阪	x	11	5	6	0	-	x	-
兵庫	340	324	178	141	1	0	15	0
奈良	201	200	77	124	-	-	0	0
和歌山	231	224	124	98	0	-	5	2
鳥取	262	248	167	75	5	0	14	-
島根	385	337	210	106	13	0	48	0
岡山	726	698	90	603	2	-	24	3
広島	467	423	159	251	13	0	43	-
山口	331	312	168	142	1	1	14	5
徳島	352	346	242	104	0	-	6	0
香川	13	10	1	10	0	-	2	0
愛媛	809	808	383	425	0	0	-	0
高知	702	700	281	382	0	-	2	1
福岡	239	234	157	75	1	-	5	0
佐賀	237	229	113	116	0	-	8	0
長崎	195	182	72	110	-	-	13	-
熊本	1,684	1,657	1,107	549	0	-	20	7
大分	1,709	1,690	1,332	358	1	-	9	4
宮崎	3,217	3,206	2,980	224	1	-	10	-
鹿児島	970	902	725	172	1	-	52	15
沖縄	x	0	-	-	-	-	x	-
合計	26,655	25,054	14,726	6,188	367	3,537	1,483	51

資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

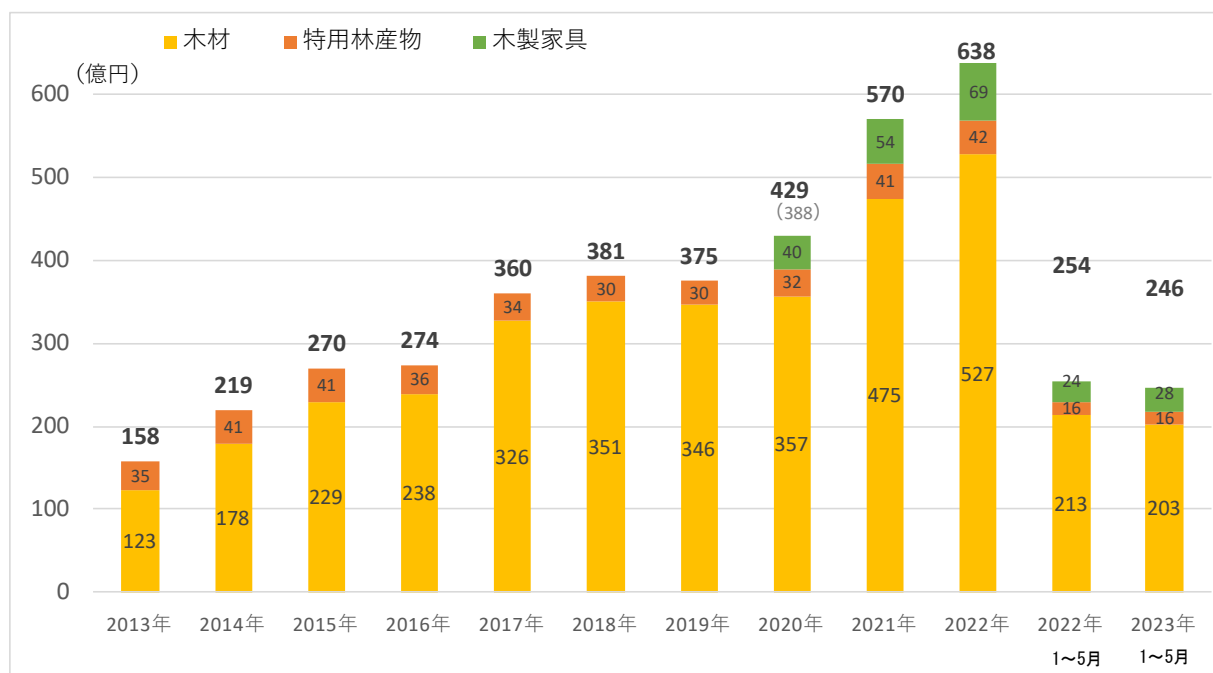
注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場が直接入荷するパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計調査を公表していないもの

- 令和5年5月の林産物輸出額は、55億円（前年同月比101%）となった。
- 内訳は、木材が46億円（同100%）、特用林産物が3億円（同90%）、木製家具が6億円（同116%）となった。
- 1～5月累計の林産物輸出額は、246億円（前年同期比97%）となった。

○林産物輸出の推移



資料：財務省「貿易統計」

※特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

(億円)

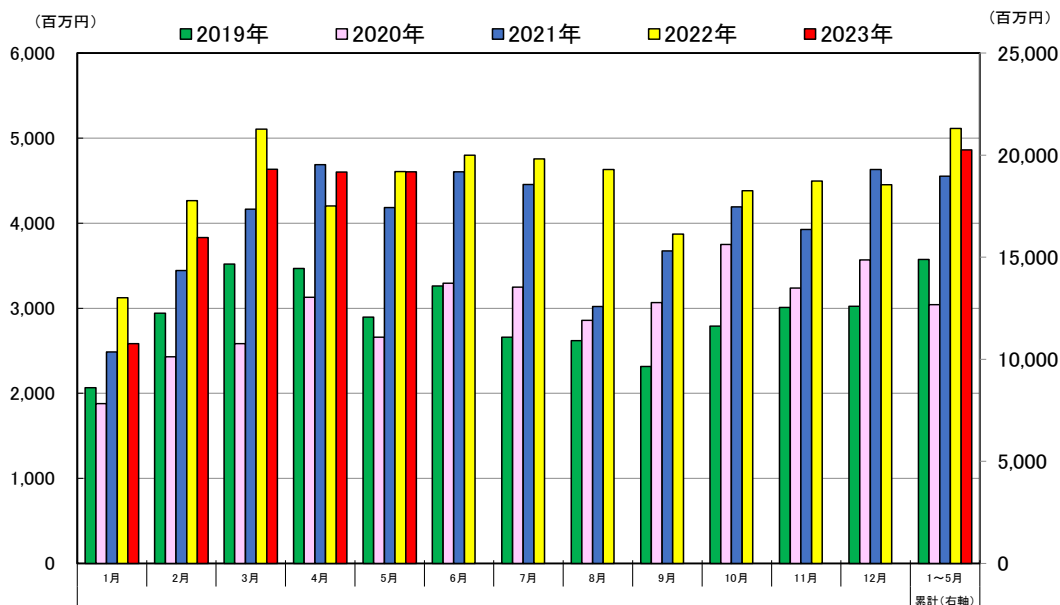
	2022年				2023年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	37	31	3	4	33	88%	105%	26	3	4
2月	50	43	3	4	47	94%	114%	38	3	5
3月	61	51	4	6	55	91%	109%	46	3	6
4月	51	42	3	5	56	110%	101%	46	3	7
5月	55	46	3	5	55	101%	114%	46	3	6
6月	58	48	4	6						
7月	58	48	4	7						
8月	56	46	3	6						
9月	48	39	4	6						
10月	54	44	4	6						
11月	55	45	4	7						
12月	56	45	4	7						
5月累計	254	213	16	24	246	97%	109%	203	16	28

資料：財務省貿易統計

林産物輸出入情報-2 木材輸出額

- 令和5年5月の木材輸出額は46億円(前年同月比100%)、1～5月累計の木材輸出額は203億円(前年同期比95%)となった。
- 1～5月累計輸出額の前年同期比を見ると、品目別では、丸太と合板がプラスで、丸太は5ヶ月ぶりにプラスに転じた。製材はマイナスで、特にフィリピン向けは前年同期比17%と大きく減少している。国別では、中国向けが前年同期比110%と前月の同101%からプラス幅を拡大している。

○木材輸出額の推移(月別)



○木材輸出額の推移(主な国別・品目別)

輸出先	5月 単月					1～5月累計				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	2,345	147%	1,861 160%	123 85%	41 88%	9,214	110%	7,164 113%	574 88%	103 70%
韓国	258	68%	170 64%	49 95%	0 25%	1,253	75%	775 79%	229 83%	5 31%
台湾	235	118%	127 129%	55 111%	0 -	1,080	87%	558 79%	248 94%	1 55%
米国	439	71%	4 -	218 49%	0 -	2,026	79%	4 -	911 58%	1 14%
フィリピン	1,016	68%	0 -	69 22%	892 84%	5,150	86%	0 -	277 17%	4,564 123%
その他	312	96%	30 134%	66 112%	3 61%	1,528	101%	98 102%	246 105%	12 55%
総計	4,604	100%	2,192 141%	580 55%	937 84%	20,252	95%	8,599 106%	2,485 53%	4,687 120%

※資料：財務省貿易統計(第44類を集計)、四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



林産物輸出入情報-3 木材輸入額

- 2023年5月の木材輸入額は、前月比106%、前年同月比は72%の1,151億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入額に占めるシェア12%）が96%、インドネシア（同9%）が93%と減少する一方、EU（同18%）が136%、中国（同12%）が103%、カナダ（同10%）が117%、米国（同8%）が114%、フィリピン（同8%）が107%と増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが52%、ベトナムが99%、中国が74%、カナダが53%、インドネシアが57%、米国が84%、フィリピンが95%と軒並み減少した。

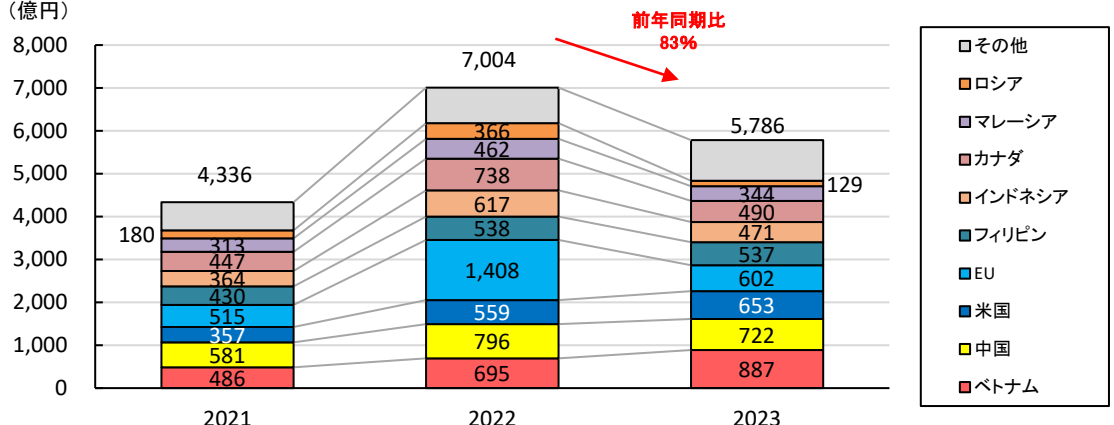
○2023年5月の木材輸入額

（単位：億円）

年	2022年 (1月～12月)	月別金額				累計金額		
		2023年 4月	2023年 5月	前月比	前年 同月比	2022年 1～5月	2023年 1～5月	前年 同期比
世界計	17,503	1,082	1,151	106%	72%	7,004	5,786	83%
E U	3,227	100	135	136%	52%	1,408	602	43%
(フィンランド)	1,080	25	43	173%	46%	474	180	38%
(スウェーデン)	688	22	25	112%	44%	313	123	39%
ベトナム	2,110	174	168	96%	99%	695	887	128%
中国	2,071	146	150	103%	74%	796	722	91%
カナダ	1,760	89	105	117%	53%	738	490	66%
インドネシア	1,584	84	78	93%	57%	617	471	76%
米国	1,456	121	138	114%	84%	559	653	117%
フィリピン	1,348	94	100	107%	95%	538	537	100%
マレーシア	1,118	52	69	133%	66%	462	344	74%
ロシア	685	19	30	156%	43%	366	129	35%
その他	2,144	203	178	88%	94%	825	953	115%
我が国の総輸入額	1,181,642	87,253	86,739	99%	90%	438,544	456,133	104%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.48%	1.24%	1.33%			1.60%	1.27%	

○2021～2023年の1～5月における木材輸入額

(億円)



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

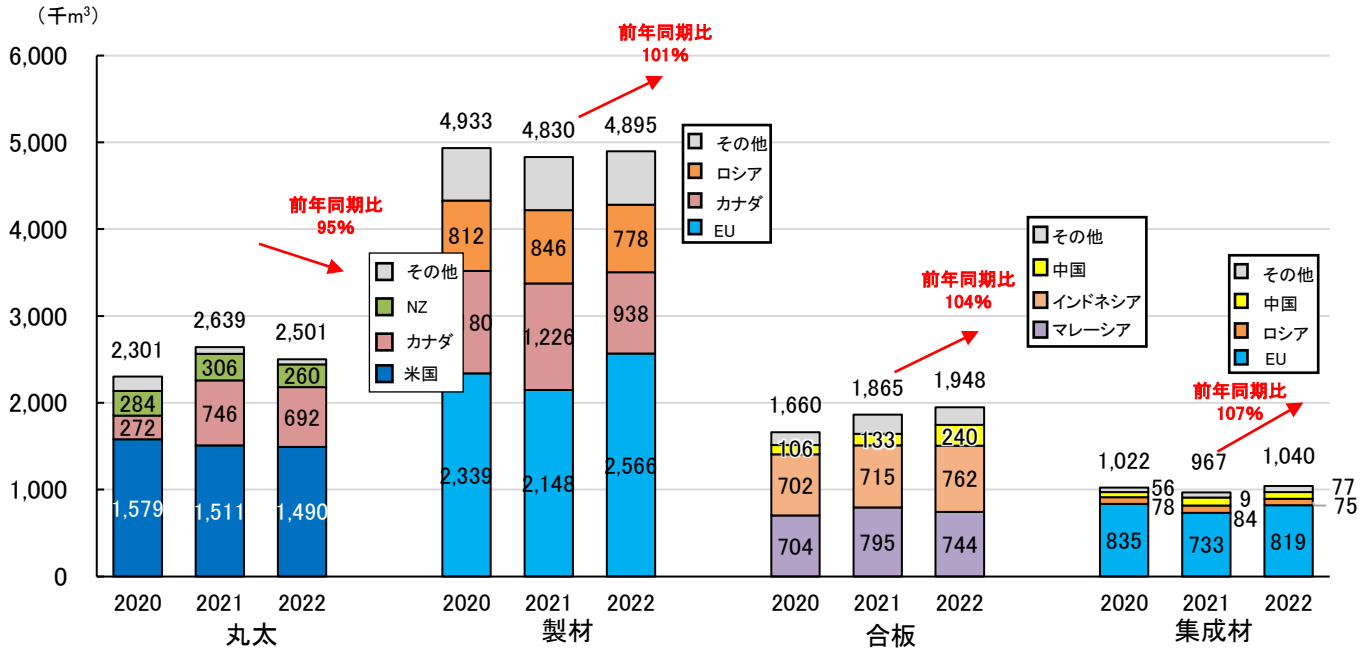
2：EUに英国は含まない。

3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

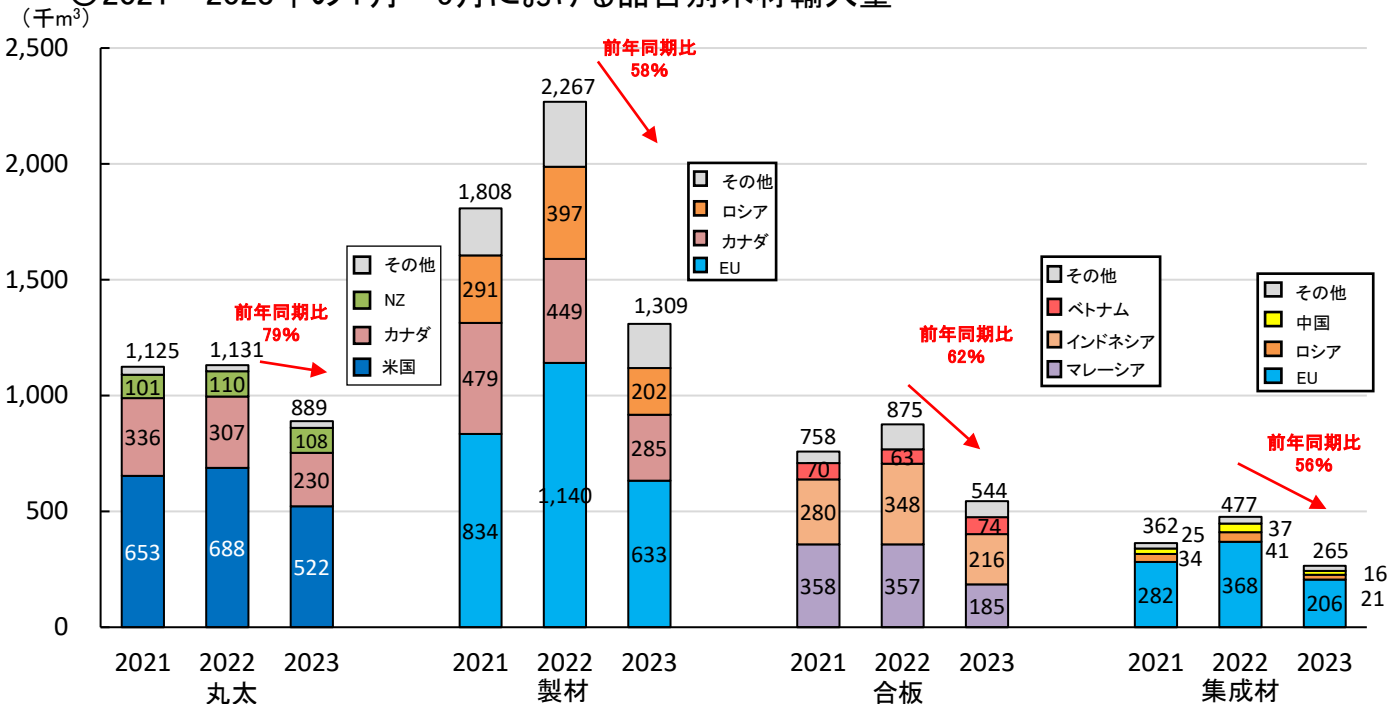
林産物輸出入情報-3 木材輸入量（累計）

- 2022年における品目別の輸入量は、前年比で丸太が95%と減少する一方で、製材が101%、合板が104%、集成材が107%と、増加した。
- 2023年1月～5月累計の品目別輸入量は、前年同期比で丸太が79%、製材が58%、合板が62%、集成材が56%と軒並み減少した。なお、2021年同期比では、丸太が79%、製材が72%、合板が72%、集成材が73%となった。

○2020～2022年の品目別木材輸入量



○2021～2023年の1月～5月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2023年5月の丸太輸入量は、前月比97%、前年同月比60%の17万³となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア28%）が88%、ニュージーランド（同10%）が79%と減少する一方、米国（同60%）が102%と増加した。
- 前年同月比で見ると、米国が38%、カナダが81%と減少する一方、ニュージーランドが229%と増加した。

（単位：千³）

材種 国名	年 2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 4月	2023年 5月	前月比	前年 同月比	2022年 1～5月	2023年 1～5月	前年 同期比
合計	[100%] 2,501	[100%] 173	[100%] 167	97%	60%	[100%] 1,131	[100%] 889	79%
米材	[87%] 2,182	[80%] 139	[79%] 132	95%	50%	[88%] 995	[85%] 752	76%
米国	[60%] 1,490	[41%] 71	[43%] 72	102%	38%	[61%] 688	[59%] 522	76%
カナダ	[28%] 692	[39%] 68	[36%] 60	88%	81%	[27%] 307	[26%] 230	75%
南洋材	[1%] 29	[0%] 0	[4%] 7	7568%	35950%	[1%] 7	[2%] 14	193%
インドネシア	[0%] 0	-	[0%] 0	皆増	皆増	[0%] 0	[0%] 0	400%
マレーシア	[1%] 22	[0%] 0	-	0%	-	[1%] 7	[1%] 7	97%
パプアニューギニア	[0%] 7	-	[4%] 7	皆増	皆増	-	[1%] 7	皆増
ロシア材	[0%] 7	-	-	-	-	[1%] 7	-	0%
ニュージーランド材	[10%] 260	[17%] 30	[14%] 24	79%	229%	[10%] 110	[12%] 108	99%
欧州材	[1%] 15	[2%] 3	[2%] 4	122%	157%	[1%] 10	[1%] 10	107%
EU計	[1%] 15	[2%] 3	[2%] 4	122%	159%	[1%] 10	[1%] 10	107%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	44%	158%	[0%] 1	[0%] 2	278%
中国	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	90%	皆増	[0%] 0	[0%] 0	108%
その他	[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0	54%	37%	[0%] 2	[0%] 1	72%

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2023年5月の製材輸入量は、前月比118%、前年同月比62%の29万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア19%）が107%、ロシア（同16%）が154%、EU（同52%）が147%と軒並み増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが57%、ロシアが68%、EUが70%と軒並み減少した。

（単位：千m³）

材種 国名	年 2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 4月	2023年 5月	前月比	前年 同月比	2022年 1～5月	2023年 1～5月	前年 同期比
合計	[100%] 4,895	[100%] 245	[100%] 289			[100%] 2,267	[100%] 1,309	
米材	[22%] 1,070	[26%] 63	[23%] 68			[22%] 502	[25%] 329	
米国	[3%] 132	[4%] 9	[4%] 10	117%	91%	[2%] 53	[3%] 44	83%
カナダ	[19%] 938	[22%] 54	[20%] 58	107%	57%	[20%] 449	[22%] 285	63%
南洋材	[1%] 63	[2%] 4	[1%] 4	91%	68%	[1%] 26	[2%] 22	83%
インドネシア	[0%] 21	[1%] 2	[0%] 1	79%	65%	[0%] 9	[1%] 8	83%
マレーシア	[1%] 40	[1%] 2	[1%] 2	96%	70%	[1%] 16	[1%] 14	82%
パプアニューギニア	[0%] 0	-	-	-	-	[0%] 0	[0%] 0	103%
ロシア材	[16%] 778	[14%] 34	[18%] 51	154%	68%	[18%] 397	[15%] 202	51%
ニュージーランド材	[1%] 47	[1%] 2	[1%] 2	101%	39%	[1%] 21	[1%] 15	73%
チリ材	[5%] 251	[12%] 29	[1%] 2	8%	6%	[6%] 126	[6%] 77	61%
欧州材	[54%] 2,619	[44%] 107	[54%] 157	146%	70%	[52%] 1,168	[49%] 644	55%
EU計	[52%] 2,566	[43%] 106	[54%] 155	147%	70%	[50%] 1,140	[48%] 633	55%
(スウェーデン)	[17%] 847	[17%] 41	[18%] 52	126%	69%	[17%] 395	[17%] 222	56%
(フィンランド)	[17%] 842	[12%] 30	[20%] 59	197%	80%	[16%] 367	[16%] 214	58%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	107%	261%	[0%] 0	[0%] 1	151%
中国	[1%] 57	[2%] 5	[1%] 4	94%	98%	[1%] 21	[1%] 17	78%
その他	[0%] 8	[1%] 1	[0%] 1	53%	118%	[0%] 4	[0%] 4	95%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2023年5月の合板輸入量は、前月比99%、前年同月比57%の10万^mとなった。
- 国別に、前月比で見ると、インドネシア（前年輸入量に占めるシェア39%）が74%と減少する一方、マレーシア（同38%）が145%と増加した。
- 前年同月比で見ると、インドネシアが50%、マレーシアが62%と減少した。

（単位：千^m）

国名	年	月別数量					累計数量		
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 4月	2023年 5月	2023年 5月		2022年 1～5月	2023年 1～5月	前年 同期比
					前月比	前年 同月比			
総輸入量		[100%] 1,948	[100%] 104	[100%] 104			[100%] 875	[100%] 544	
インドネシア		[39%] 762	[44%] 46	[33%] 34			[40%] 348	[40%] 216	
マレーシア		[38%] 744	[28%] 29	[40%] 42	145%	62%	[41%] 357	[34%] 185	52%
中国		[12%] 240	[13%] 14	[13%] 14	101%	43%	[11%] 100	[12%] 63	63%
ベトナム		[10%] 186	[14%] 15	[12%] 13	86%	97%	[7%] 63	[14%] 74	117%
EU		[0%] 6	[0%] 1	[1%] 1	133%	121%	[0%] 3	[1%] 3	121%
その他		[1%] 10	[1%] 1	[1%] 1	92%	57%	[0%] 4	[1%] 3	77%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：EUに英国は含まない。

- 2023年5月の木材チップ輸入量は、前月比107%、前年同月比99%の104万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、オーストラリア（前年輸入量に占めるシェア17%）が78%と減少する一方、ベトナム（同38%）が113%、チリ（同8%）が209%と増加した。
- 前年同月比で見ると、チリが35%と減少する一方、ベトナムが104%、オーストラリアが163%と増加した。

（単位：千トン）

国名	年	月別数量					累計数量		
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 4月	2023年 5月	2023年 5月		2022年 1～5月	2023年 1～5月	前年 同期比
					前月比	前年 同月比			
総輸入量		[100%] 11,312	[100%] 968	[100%] 1,041			[100%] 4,722	[100%] 4,992	
ベトナム		[38%] 4,300	[35%] 341	[37%] 385	113%	104%	[37%] 1,768	[36%] 1,794	102%
オーストラリア		[17%] 1,943	[26%] 249	[19%] 194	78%	163%	[18%] 833	[18%] 903	108%
チリ		[8%] 868	[3%] 30	[6%] 62	209%	35%	[10%] 479	[7%] 361	75%
南アフリカ共和国		[10%] 1,099	[13%] 123	[9%] 89	73%	135%	[9%] 406	[10%] 512	126%
米国		[8%] 960	[10%] 98	[11%] 117	119%	115%	[8%] 389	[8%] 385	99%
その他		[19%] 2,142	[13%] 127	[19%] 193	151%	87%	[18%] 847	[21%] 1,037	122%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2023年5月の集成材輸入量は、前月比144%、前年同月比70%の6.3万^m³となった。構造用集成材に限ると、前月比148%、前年同月比72%の5.5万^m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国（前年輸入量に占めるシェア7%）が84%と減少する一方、EU（同79%）が159%、ロシア（同7%）が117%と増加した。EUの国別内訳では、フィンランド（同38%）が169%、ルーマニア（同15%）が180%、オーストリア（同12%）が205%と増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが82%、中国が36%、ロシアが23%と軒並み減少した。

（単位：千^m³）

年 国名	2022年 (1月~12 月)	月別数量				累計数量		
		2023年 4月	2023年 5月	前年		2022年 1 ~5月	2023年 1~5月	前年 同期比
				前月比	同月比			
総輸入量	[100%] 1,040	[100%] 44	[100%] 63	144%	70%	[100%] 477	[100%] 265	56%
うち 構造用集成材	[100%] 906	[100%] 37	[100%] 55	148%	72%	[100%] 416	[100%] 227	55%
EU	[79%] 819	[76%] 33	[84%] 53	159%	82%	[77%] 368	[78%] 206	56%
うち 構造用集成材	[88%] 797	[89%] 33	[93%] 51	155%	81%	[86%] 358	[88%] 200	56%
フィンランド	[38%] 390	[37%] 16	[44%] 27	169%	81%	[35%] 169	[40%] 107	63%
うち 構造用集成材	[43%] 385	[43%] 16	[49%] 27	169%	81%	[40%] 168	[46%] 105	63%
ルーマニア	[15%] 156	[12%] 5	[15%] 9	180%	101%	[17%] 80	[12%] 32	40%
うち 構造用集成材	[16%] 148	[14%] 5	[16%] 9	176%	102%	[18%] 75	[14%] 31	42%
オーストリア	[12%] 125	[9%] 4	[12%] 8	205%	73%	[11%] 51	[10%] 27	52%
うち 構造用集成材	[13%] 116	[10%] 4	[12%] 7	177%	68%	[11%] 47	[10%] 23	49%
中国	[7%] 77	[10%] 4	[6%] 4	84%	36%	[8%] 37	[6%] 16	44%
うち 構造用集成材	[5%] 45	[6%] 2	[4%] 2	87%	36%	[5%] 23	[4%] 8	37%
ロシア	[7%] 75	[5%] 2	[4%] 2	117%	23%	[9%] 41	[8%] 21	50%
うち 構造用集成材	[7%] 63	[5%] 2	[4%] 2	108%	25%	[8%] 35	[8%] 19	54%
その他	[7%] 68	[10%] 4	[7%] 4	101%	77%	[6%] 30	[8%] 22	73%
うち 構造用集成材	[0%] 0	[0%] 0	[0%] 0	-	-	[0%] 0	-	0%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2023年5月の木質ペレット輸入量は、前月比106%、前年同月比108%の43万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア54%）が88%と減少する一方、カナダ（同31%）が145%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが87%、カナダが70%と減少した。

（単位：千トン）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 4月	2023年 5月	前月比	前年 同月比	2022年 1～5月	2023年 1～5月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 4,407	[100%] 410	[100%] 434	106%	108%	[100%] 1,634	[100%] 2,084	128%	
ベトナム	[54%] 2,394	[48%] 195	[40%] 172	88%	87%	[56%] 915	[45%] 939	103%	
カナダ	[31%] 1,359	[19%] 80	[27%] 116	145%	70%	[31%] 510	[29%] 615	120%	
マレーシア	[3%] 137	[2%] 6	[7%] 28	449%	135%	[3%] 53	[4%] 87	165%	
その他	[12%] 517	[31%] 129	[27%] 118	92%	636%	[10%] 156	[21%] 444	284%	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2023年5月のLVL輸入量は、前月比102%、前年同月比77%の3.9万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア20%）が84%と減少する一方、中国（同75%）が107%と増加した。
- 前年同月比で見ると、中国が75%、ベトナムが82%と減少した。

（単位：千m³）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 4月	2023年 5月	前月比	前年 同月比	2022年 1～5月	2023年 1～5月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 527	[100%] 39	[100%] 39	102%	77%	[100%] 210	[100%] 205	97%	
中国	[75%] 397	[73%] 28	[77%] 30	107%	75%	[75%] 159	[74%] 152	96%	
ベトナム	[20%] 107	[23%] 9	[19%] 7	84%	82%	[20%] 41	[21%] 43	105%	
インドネシア	[4%] 19	[3%] 1	[3%] 1	104%	85%	[4%] 8	[3%] 7	84%	
その他	[1%] 4	[1%] 0	[1%] 0	105%	164%	[1%] 2	[1%] 2	112%	

資料：財務省貿易統計

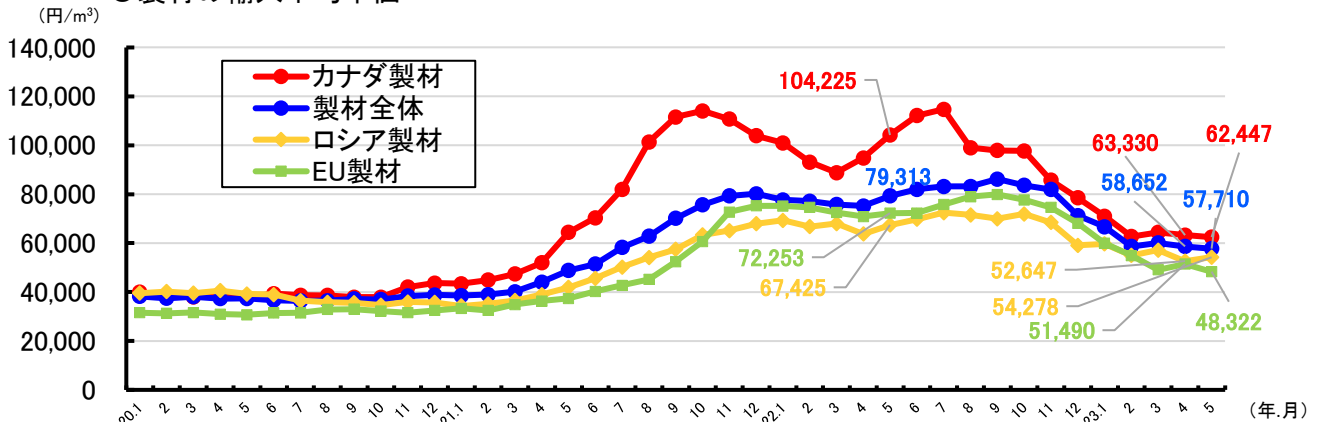
注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

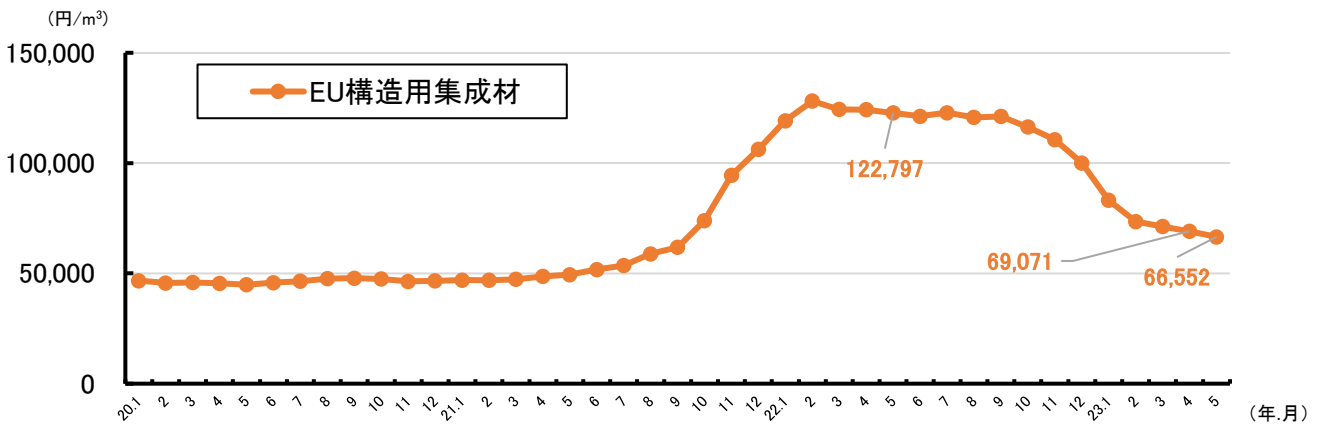
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2023年5月の製材輸入平均単価（総輸入額/総輸入量）は、前月比98%の57,710円/m³（前年同月比73%）。うち、カナダの製材は前月比99%の62,447円/m³（同60%）、EUの製材は前月比94%の48,322円/m³（同67%）、ロシアの製材は前月比103%の54,278円/m³（同81%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比96%の66,552円/m³（同54%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比98%の81,689円/m³（同81%）。

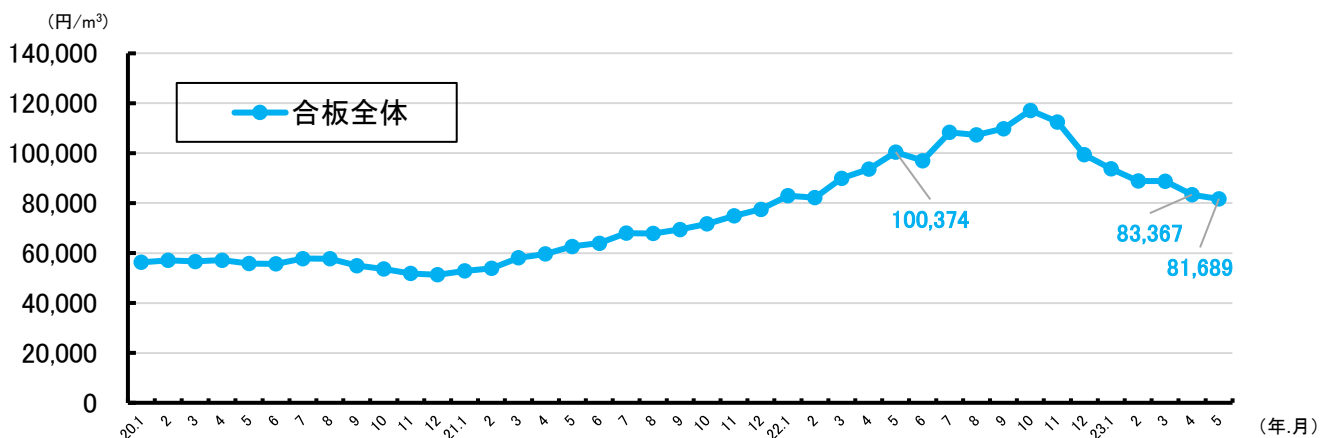
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2022年の食用きのこ類の生産量は46万1,659t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は2万0,509t（対前年比103.0%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,882t（対前年比102.9%）となった。

○きのこ類

単位:t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ(生換算値)	生しいたけ	原木栽培	菌床栽培	なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39
2022	4	83,728	2,032	14,224	69,504	4,281	65,223	23,697	126,321	4,501	123,134	57,299	37,798	3,056	36

注:乾しいたけの生換算値は「乾燥重量×7」により算出した。

○その他食品

単位:t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび(根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886
2022	4		20,509	

注:くりの2010年～2021年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和3年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量(概数値)』による。

○非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	もろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	千本、t	千本、t	t	t	kl	kl	
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,550	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192
2022	4					11,882	426	4,773										

注: 1 木炭は白炭、黒炭、粉炭を含む。
 2 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。
 3 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本から t に変更した。

資料: 特用林産基礎資料(第1報)
 斜線部分は令和5年8月末に公表予定。

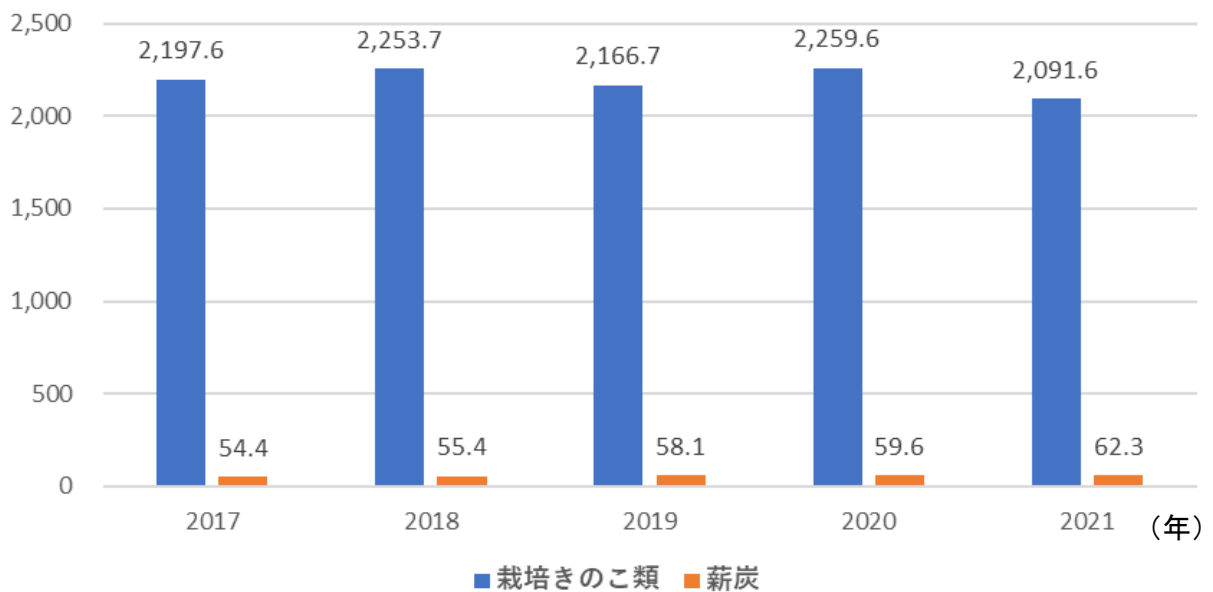
特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2021年のきのこ類の林業産出額は、2,091.6億円（対前年比92.6%）となった。
- 薪炭の林業産出額は、62.3億円（対前年比104.5%）となった。

（億円）

	2017	2018	2019	2020	2021
栽培きのこ類	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6	2,091.6
薪炭	54.4	55.4	58.1	59.6	62.3

（億円）



資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

- 2023年1～5月の乾しいたけの輸出量は11トン、輸入量は1,885トン。
- 2023年1～5月の木炭の輸出量は71トン、輸入量は39,627トン。

品目	単位	2019		2020		2021		2022		2023 1-5月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	33	4,869	33	4,354	41	4,575	36	4,596	11	1,885
生しいたけ	トン	…	1,835	…	1,785	…	1,988	14	2,262	6	743
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	89	25,320	14	23,190	66	22,060	76	24,882	11	10,258
まつたけ	トン	…	849	…	629	…	524	0	408	-	-
くり	トン	…	9,019	…	7,371	…	8,401	…	8,481	…	938
くるみ	トン	…	52,236	…	56,478	…	67,581	…	53,991	…	30,902
たけのこ	トン	…	157,296	…	142,544	…	149,778	…	153,619	…	54,343
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	7	10	4	9	5	11	5	10	5	5
生うるし	kg	…	36,254	…	30,165	…	21,910	…	23,880	…	6,300
つばき油	kl	…	180	…	220	…	224	…	218	…	107
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	215	0	194	0	191	0	159	-	69
桐材	m ³	…	10,099	…	9,726	…	9,871	…	9,813	…	4,024
木炭	トン	460	143,953	439	79,739	270	84,224	205	80,042	71	39,627
竹炭	トン	…	9,414	12	7,605	2	6,790	6	9,666	0	4,775
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	788	1,830	468	2,326	490	7,099	558	9,048	75	3,795
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	54,183	…	44,499	…	37,584	…	43,396	…	18,323
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

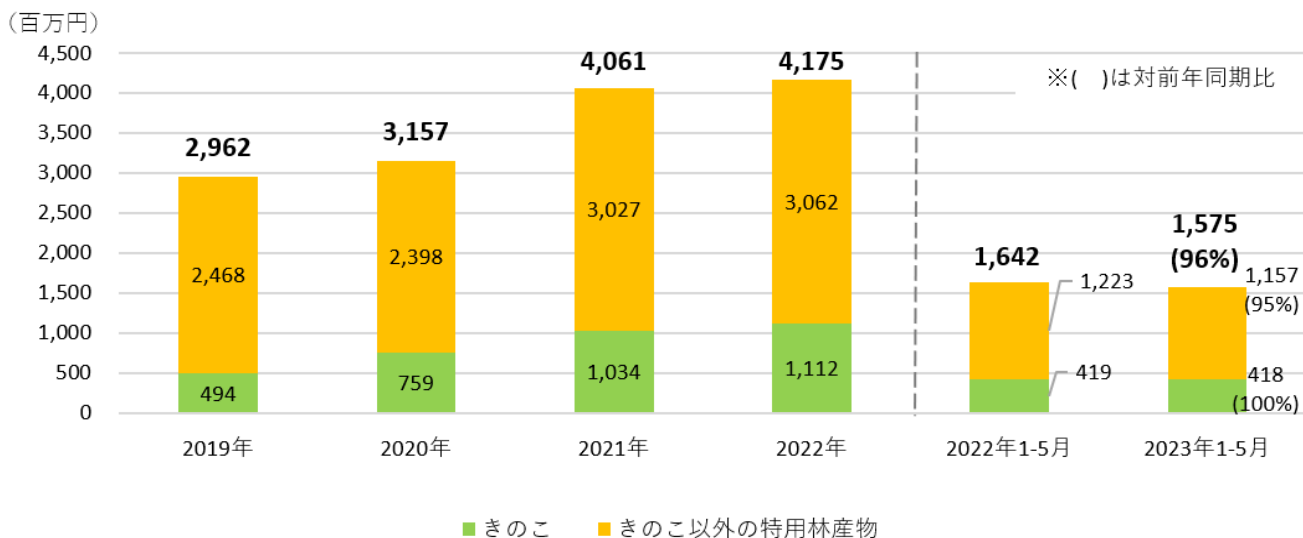
資料：財務省貿易統計

注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

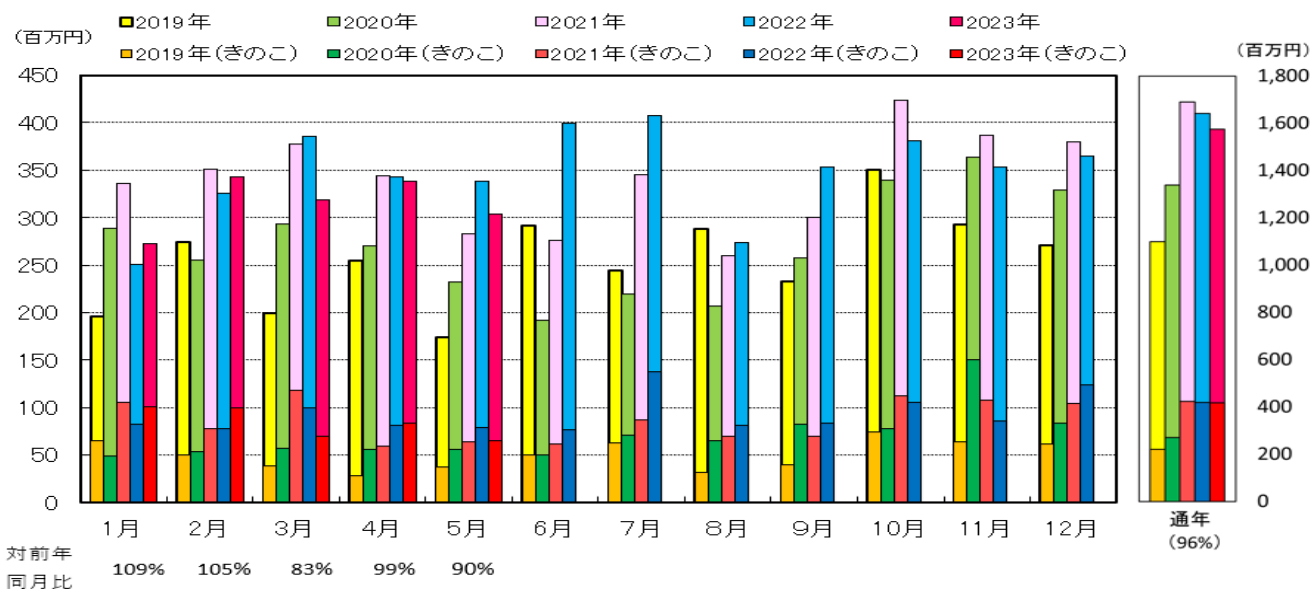
特用林産情報-4 特用林産物の輸出額①

- 2023年（1～5月）の特用林産物輸出額は1,575百万円（前年同期比96%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は418百万円（対前年同期比100%）、きのこ以外は1,157百万円（対前年同期比95%）となった。
- 5月輸出額は、303百万円（対前年同月比90%）となった。
- 内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は64百万円（対前年同月比81%）、きのこ以外は239百万円（対前年同月比92%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産物の輸出額②

- 2023年（1～5月）のきのこの輸出額は418百万円で、対前年同期比100%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比102%、台湾が86%、シンガポールが129%、米国が40%となっている。
- 2023年（1～5月）の輸出量は619トンで、対前年同期比102%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比86%、台湾が80%、シンガポールが115%、米国が45%となっている。

〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



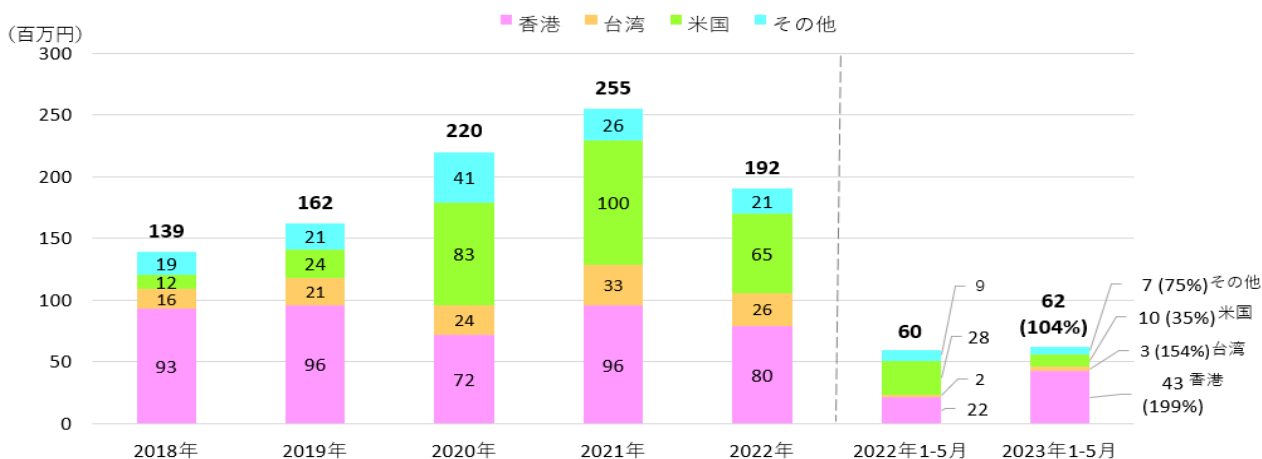
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2023年（1～5月）の乾しいたけの輸出額は62百万円で、対前年同期比104%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比199%、台湾は154%、米国は35%となっている。
- 2023年（1～5月）の輸出量は11トンで、対前年同期比74%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比191%、台湾が92%、米国が34%となっている。

〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）



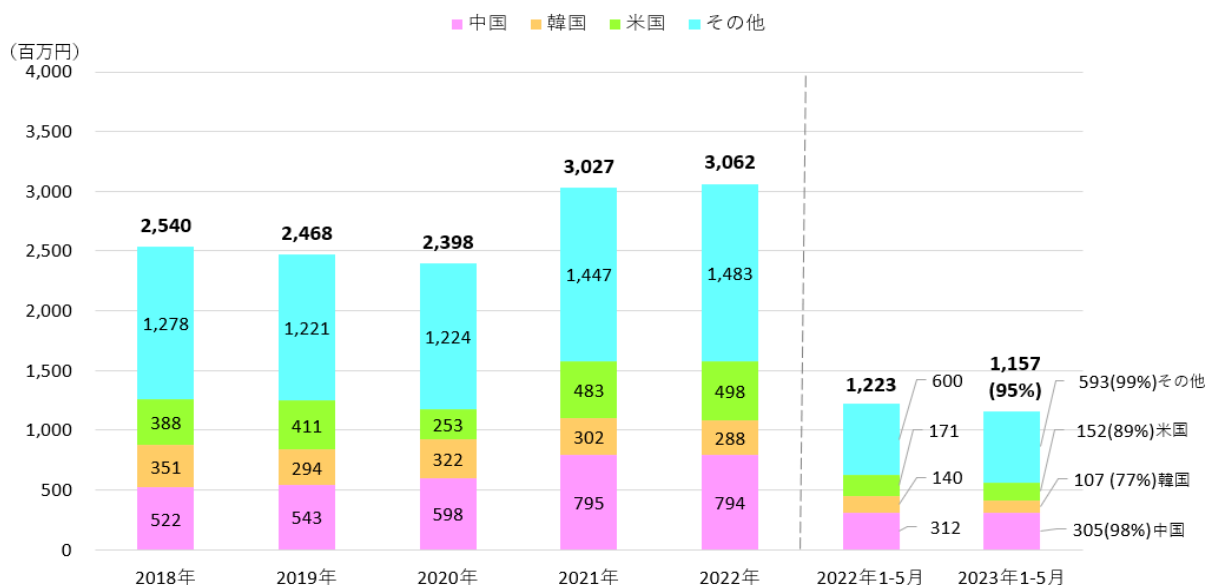
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

特用林産情報- 4 特用林産物の輸出額③

- 2023年（1～5月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は1,157百万円で、対前年同期比95%となっている。国別には、中国が対前年同期比98%、韓国が77%、米国が89%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比90%、植物性ろうが85%、テルペン油が83%となっている。
- 2023年（1～5月）の輸出量は933トンで、対前年同期比85%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比90%、韓国が76%、米国が63%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計
※()は対前年同期比

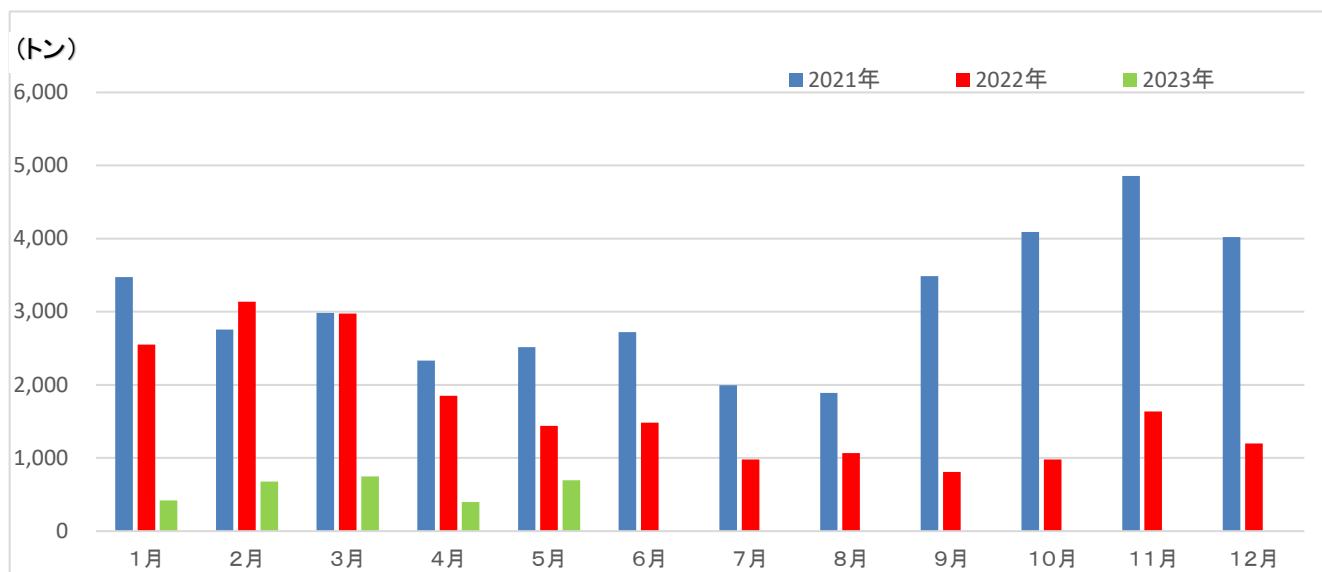
特用林産情報-5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあったが、2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 月別の輸入量について前年と比較すると、2022年4月以降の輸入量に減少が見られ、直近の5月には、前年の1,439トンから695トン（対前年同期比48.2%）へと大幅に減少。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年 (令和3年)	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年 (令和4年)	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199
2023年 (令和5年)	420	675	746	395	695							



資料：財務省貿易統計

- 2023年6月のきのこの卸売数量は4,974トン（対前年同月比92.4%）となった。
- 2023年6月のきのこの卸売総額は2,511百万円（対前年同月比113.3%）となった。

きのこ類の卸売数量

単位：トン

	2020年	2021年	2022年	2022年 6月	2023 1月	2023 2月	2023 3月	2023 4月	2023 5月	2023 6月
生しいたけ	48,466	47,744	47,222	1,256	1,541	1,398	1,489	1,248	1,222	1,175
なめこ	16,889	16,285	16,865	455	468	455	498	467	452	470
えのきだけ	98,312	99,571	99,656	2,084	3,374	2,929	2,688	2,400	2,050	1,938
しめじ	62,573	62,049	62,459	1,589	2,030	1,936	1,918	1,729	1,483	1,391
合計	226,240	225,649	226,202	5,384	7,413	6,718	6,593	5,844	5,207	4,974

きのこ類の卸売総額

単位：百万円

	2020年	2021年	2022年	2022年 6月	2023 1月	2023 2月	2023 3月	2023 4月	2023 5月	2023 6月
生しいたけ	43,781	41,270	41,300	1,012	1,766	1,461	1,379	1,144	1,213	1,069
なめこ	7,431	7,032	7,321	198	223	225	229	215	219	214
えのきだけ	26,245	23,267	23,288	456	1,247	995	696	618	650	605
しめじ	28,688	25,099	25,300	550	969	906	757	684	679	623
合計	106,144	96,668	97,209	2,216	4,204	3,588	3,061	2,661	2,761	2,511

きのこ類の卸売単価

単位：円/kg

	2020年	2021年	2022年	2022年 6月	2023 1月	2023 2月	2023 3月	2023 4月	2023 5月	2023 6月
生しいたけ	903	864	875	806	1,146	1,045	926	917	993	909
なめこ	440	432	434	436	476	495	459	461	484	455
えのきだけ	267	234	234	219	370	340	259	257	317	312
しめじ	458	404	405	346	477	468	395	396	458	448

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■ 7月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
～美しい地球は、私達の心のハーモニーから～ 雨谷麻世 環境チャリティコンサート vol. 84～87	7月26日(水) 9月15日(金) 10月3日(火) 12月20日(水)	戸塚区民文化センター さくらプラザ、 ほか	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：（特非）太陽の会 （公社）国土緑化推進機構 チケット取扱い：e+（イープラス） http://eplus.jp 詳細： https://mayocrystalvoice.com/category/concert_news/
第16回松枯れ防除実践講座	●講義 8月24日(木) ●野外実習 8月25日(金)	●講義 千葉大学 西千葉 キャンパス けやき会館 ●野外実習 千葉市 稲毛海浜公園 内松林	松林の適切な防除計画の策定と、的確な防除の実施に必要な知識や技術の習得のための講義及び野外実習です。 主催：（一財）日本緑化センター 事前申込：要（定員になり次第締切） 参加費：HP参照 詳細： http://www.jpgreen.or.jp/event/matsu/index.htm ↓
第59回 JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2023	8月24日(木) ～26日(土)	幕張メッセ 国際展示場	DIY産業の健全な振興・総合的な発展を目指し、国内外のDIY・ホームセンター関連商品を一堂に展示します。 主催：（一社）日本DIY・ホームセンター協会 詳細： https://diy-show.com
第26回 「木のある暮らし」 作文コンクール	●募集期間 ～9月11日(月) ●表彰式 10月28日(土)	オンライン (表彰式)	日々の生活のなかにある「木」から地球環境保護の大切さを理解してもらうために小学生を対象とする作文コンクールです。 主催：（一社）日本木造住宅産業協会 詳細： https://www.mokujukyo.or.jp/lifewithwood/concours/
森林の仕事ガイダンス	●中央ガイダンス 大阪： 11月18日(土) 東京： 12月2日(土) ●エリアガイダンス 9月2日(土)以降 全国で順次開催	詳細はHP参照	森林・林業に関心を持つ方や就業を考える方を対象に実施する説明会・相談会です。 主催：全国森林組合連合会 等 事前申込：要の場合あり（詳細はHP参照） 参加費：無料 詳細： https://www.ringyou.net/guidance/

お知らせ

10月1日から消費税インボイス制度が始まります！

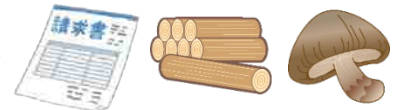
森林・林業・木材産業関係者の皆様に、制度をよく理解いただき、各々の取引実態を踏まえて適切に準備いただく一助となるよう、林野庁ではインボイスサイトを開設し、ポイントをわかりやすくまとめたリーフレット掲載の他、各種パンフレットや関係サイトを紹介しております。

また、相談窓口も開設しておりますので、ぜひご活用ください！



インボイス制度（適格請求書等保存方式）のポイント！

- 消費税は、商品の販売やサービスの提供等の取引に対して広く公平に課される税であり、リーフレット消費者が負担するが、納税は事業者が実施。
- 事業者は、売上げに係る消費税額から、仕入れに係る消費税額を差し引いた額を納税（仕入税額控除）。
- 2023年10月1日から、事業者が仕入税額控除を行うためには、原則として、仕入先からインボイス（適格請求書）を交付してもらい、保存しておく必要。
- このインボイスは、税務署長の登録を受けた課税事業者のみが交付可能。（免税事業者はインボイスの交付不可！）



納付する消費税額の計算方法

※ 消費税額は、税率ごとに区分して計算する必要

売上げに係る消費税額（売上税額） マイナス 仕入れや経費に係る消費税額 = 納付する税額（納付税額）

仕入れに係る消費税額を差し引くこと = 仕入税額控除

仕入税額控除にはインボイスの保存が必要

インボイスがなければ仕入税額控除できない！※

※ 制度開始から6年間は、経過措置が設けられています。

簡易課税制度を選択した場合の計算方法

納付する税額 =

売上げの消費税額 マイナス 仕入れや経費の消費税額

売上げの消費税額 \times みなし仕入率

インボイスの保存不要！

売上税額がわかれば納付税額の計算が可能！

事務負担が軽減！

事業区分	該当する事業	みなし仕入率
第一種	卸売業	90%
第二種	小売業、農林漁業（飲食料品）	80%
第三種	製造業、農林漁業（飲食料品除く）等	70%
第四種	その他事業（飲食店業等）	60%
第五種	サービス業等	50%
第六種	不動産業	40%

（注）簡易課税制度の適用には、事前の届出書の提出と、基準期間の課税売上高が5,000万円以下であることが必要。

インボイス（適格請求書）とは？

- 丸太等を購入した買手に対し、正確な適用税率や消費税額等を伝えるために、登録番号※、適用税率、消費税額等の記載した請求書。

（※ 登録番号は、登録後に税務署から通知される番号）

- 「インボイス」という名称の書類を新たに作成する必要はなく、現在の請求書や領収書等に不足する項目を追加するイメージ。

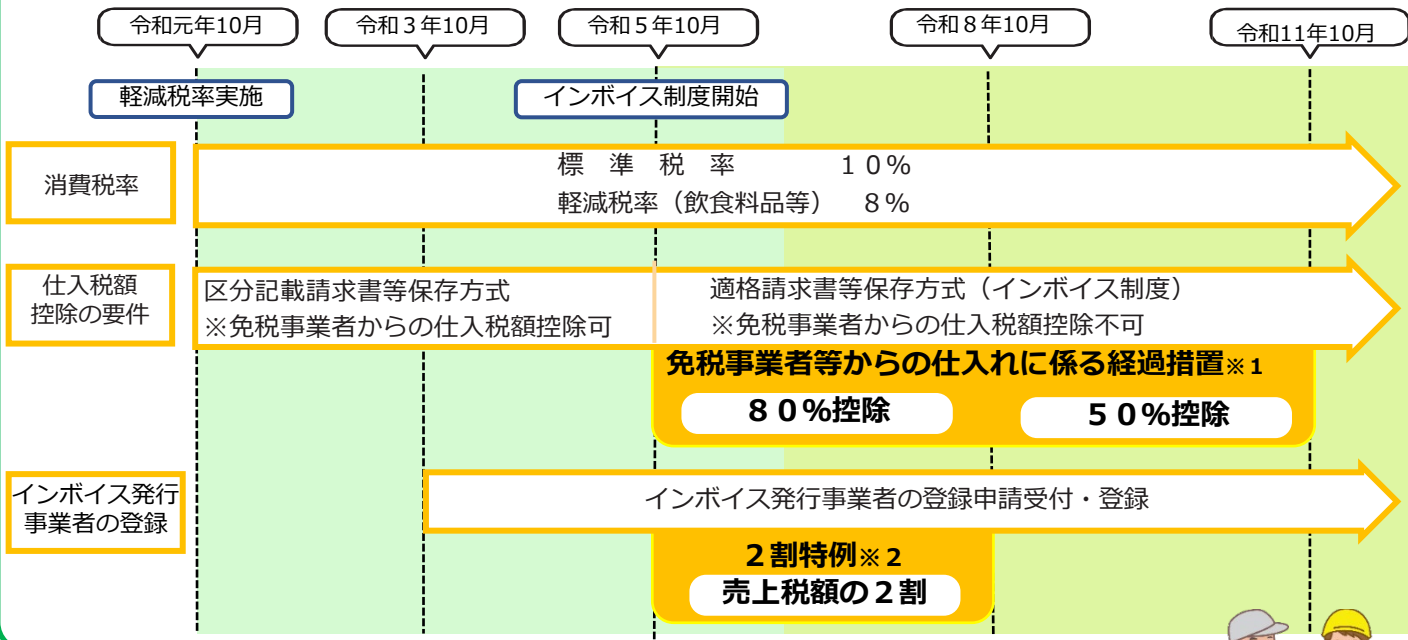
赤字が従来の区分記載請求書との変更点 →

【インボイスのイメージ】

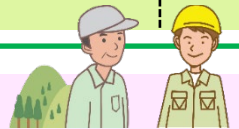
請求書	
●●(株)御中	登録番号 ○○会社 (T1234...)
○年○月分	請求金額 115,400円
○月○日	丸太 110,000円
○月○日	乾しいたけ※ 5,400円
	合計 115,400円
適用税率	
10%対象	110,000円 内税 10,000円
8%対象	5,400円 内税 400円
※は軽減税率対象	
	消費税額等

インボイス制度のスケジュール及び経過措置等

- 制度開始日（令和5年10月1日）からインボイス発行事業者となるためには、**令和5年9月30日までに登録申請書を提出する必要があります。登録通知が届くまで一定期間（e-Tax提出：約1ヶ月半、書面提出：約3ヶ月）を要するため、登録を受ける事をお決めの方は、お早めの申請をおすすめします！**
- **制度の開始後6年間（令和11年9月30日まで）は、免税事業者等からの課税仕入れについても、一定の割合で仕入税額控除ができる経過措置があります（※1）。**
- **免税事業者からインボイス発行事業者となる場合には、納付税額を売上げの消費税額の2割とすることができる負担軽減措置（2割特例）があります（※2）。**



免税事業者の方や、取引先が免税事業者である場合の対応に関する考え方



仕入先である免税事業者との取引について、インボイス制度の実施を契機として取引条件を見直すことを検討する場合は、上述の経過措置が設けられていることを考慮しつつ、**一方的な取引価格の引下げや取引の打ち切りなど、独占禁止法上の問題（優越的地位の濫用）等とならないように注意する必要があります。**

また、消費税の性質上、免税事業者であっても自らの仕入れや諸経費に係る消費税を負担しているため、**その分は免税事業者の取引価格に織り込まれる必要があります。**

関係省庁連名で、令和4年1月19日付「**免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関するQ&A**」（財務省・公正取引委員会・経済産業省・中小企業庁・国土交通省）が公表されていますので、制度への理解を深め、必要な対応をご検討いただく際に参考としてください。



免税事業者等
Q & A

林野庁のインボイス制度に関する相談窓口

林野庁企画課 **03-3502-8111**（内線**6064**）【受付時間】9:30～17:00（土日祝除く）

メールアドレス syohizei_rinya@maff.go.jp

（インボイス制度の基本的な内容や、業界特有の対応に係るご質問から、地域等での説明会の開催に当たっての講師派遣、広報誌への寄稿等等、お気軽にご相談ください！）

林野庁インボイスサイト https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/kinyu/syohizei_invoice.html

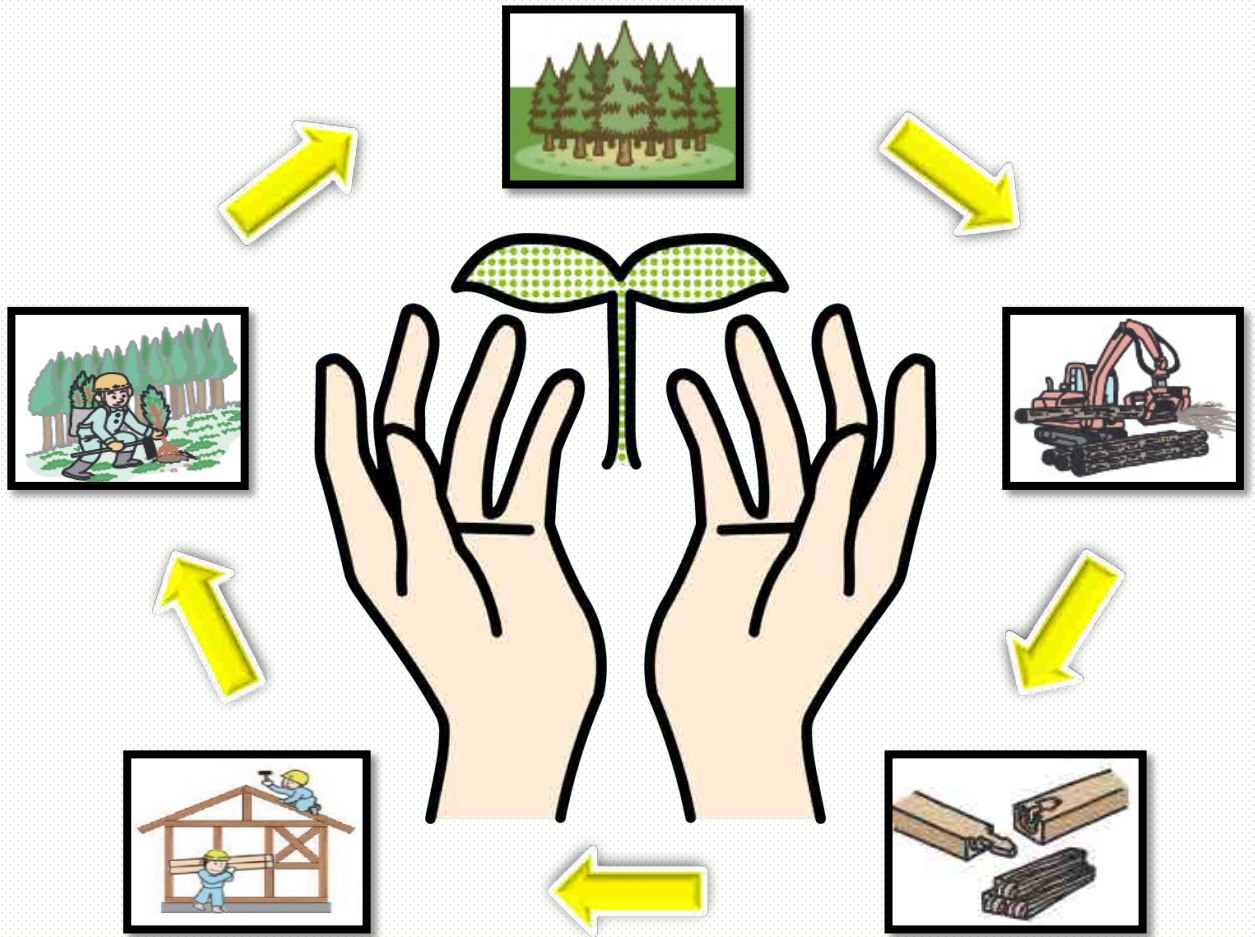
林野庁
インボイスサイト
はこちら！



林業・木材産業の事業者の皆様へ

林業信用保証のご案内

運転資金や設備資金の調達を幅広くサポートします！



林業信用保証のメリット

- ・手頃な保証料率 **年0.15%～1.80%**（財務内容によります）
- ・保証限度額 **最大6億円**（関連企業の残高を含みます）
- ・多様なメニュー **無利子**の改善資金、**最大3千万円**の創業支援など

※ご利用には審査があります

独立行政法人農林漁業信用基金

林業信用保証管理部 TEL: 03-3434-7825

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>



ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ (※)」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD  CHANGE

WOOD  CHANGE



【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班 (TEL : 03-6744-2298)

